

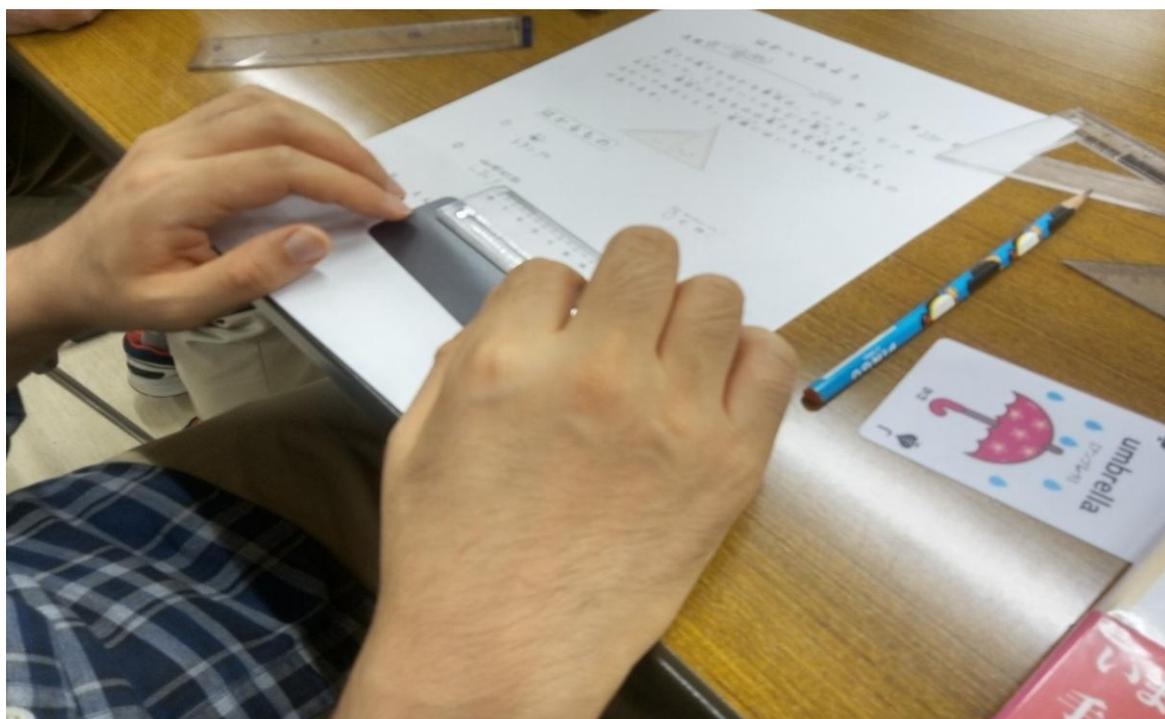
ねん ど ほっかいどうやかんちゅうがくこうりゅうかい
2025年度 北海道夜間中学交流会

さっぽろえんゆうじゅく ねん つど
札幌遠友塾35年の集い

き
記

ろく
録

しゅう
集



ねん がつ にち ど ごと し ぶん こうえん たいけんはっぴょう
2025年9月13日(土) 午後1時30分～ 講演と体験発表
ごと し ぶん ねん つど
午後4時30分～ 35年の集い

さっぽろしきょういくぶんかいかん めいさんか
札幌市教育文化会館(130名参加)

しゅざい ほっかいどうやかんちゅうがくこうりゅうかいじっこういんかい
主催：北海道夜間中学交流会実行委員会

こうえん ほっかいどうきょういくいんかい さっぽろしきょういくいんかい はこだてしきょういくいんかい
後援：北海道教育委員会 札幌市教育委員会 函館市教育委員会

おたるしきょういくいんかい あさひかわしきょういくいんかい くしろしきょういくいんかい
小樽市教育委員会 旭川市教育委員会 釧路市教育委員会

おひろしきょういくいんかい とまこまいしきょういくいんかい
帯広市教育委員会 苫小牧市教育委員会

もく じ
目 次

< ページ >

1. 実行委員長挨拶 (黒澤晴一)	3
2. 出席者代表挨拶 (山田哲也)	6
3. 講演「札幌遠友塾の歴史と今後の課題 II」(工藤慶一)	8
4. 生活体験発表	
(1) 「生きてきてよかった」という言葉が聞きたくて 札幌遠友塾自主夜間中学 (横山晴美)	29
(2) 私と孫と遠友塾 札幌遠友塾自主夜間中学 (坪谷彰子)	38
(3) 「くるかい」と私の学び 釧路自主夜間中学「くるかい」(賀根村伸子)	42
(4) 「くるかい」と出会って 釧路自主夜間中学「くるかい」(佐藤法子)	44
(5) 函館遠友塾の理科授業一身の回りの科学を学ぶ一 函館遠友塾自主夜間中学 (菅原智明)	48
(6) 孫と私と遠友塾 函館遠友塾自主夜間中学 (新井田照代)	52
(7) 恩返し 函館遠友塾自主夜間中学 (藤山ゆな)	53

(8) 星友館中が届けたい思い

札幌市立星友館中学校 (鎌田哲至) 54

(9) 道しるべ 札幌市立星友館中学校 (佐々木達朗) 56

5. 地域の活動報告 (当日会場で配付)

(1) 札幌市立星友館中学校

「学ぶ=生きる」生徒さんの声に耳を傾ける (鎌田哲至) 58

(2) 函館遠友塾自主夜間中学

一健康で一緒に学ぶ (菅原智明) 60

(3) 釧路自主夜間中学「くるかい」(賀根村伸子) 62

(4) 札幌遠友塾自主夜間中学 (中島圭子) 66

(5) 旭川に公立夜間中学をつくる会 (中島啓幸) 68

(6) 北海道に夜間中学をつくる会 (鹿沼秀夫) 70

○ 札幌遠友塾自主夜間中学「35年の集い」 73

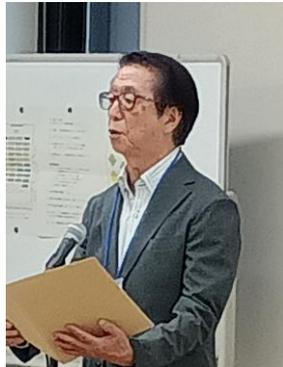
○ 札幌遠友塾自主夜間中学「35年記念展示」 76

(参考資料)

・ 札幌遠友塾自主夜間中学35周年 年表 78

・ 札幌遠友塾自主夜間中学受講生・スタッフ数の推移 82

1. 実行委員長挨拶



さっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく
札幌遠友塾自主夜間中学

だいひょう くろさわ せいいち
代表 黒澤 晴一

みな 皆さん、こんにちは。今日は札幌市立星友館中学校の山田哲也校長先生を始めとしまして、多くの皆様方にご参加頂き、誠に有り難うございます。

わたし は本交流会の実行委員長を務めます札幌遠友塾自主夜間中学代表の黒澤晴一と申します。どうぞよろしくお願い致します。

今年度も、対面とオンラインによる開催ができました。

また、遠路、函館、釧路、北見からもこの会場において頂いております。感謝いたします。そして、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、苫小牧市の各教育委員会から後援して頂きました。励みになります。改めてお礼申し上げます。

さて、今年は昭和でいうと100年、第二次世界大戦が終わって80年になります。被爆80年でもあります。戦争は悲惨であり、大切な人の命や心を奪います。この戦争で日本人は軍関係で230万人、民間人80万人、合計310万人が命を落としております。

しかし戦後80年もたつと様々な記憶が薄れ、事実としてある記憶の中の歴史を塗り替え、書き換えようとしている動きがあります。危うさを感じざるをえません。

日本はなぜ、無謀な戦争に走ったのでしょうか。ジャーナリストの池上彰さんが次の二つをあげております。一つは戦争による勝利に国民が喜び熱狂したこと。当時の文化人といわれる人々、たとえば人道主義文学の武者小路実篤は「おろかなのはルーズベルト、チャーチル、日本を敵にまわす怖さを知らない・・・」与謝野晶子、高村光太郎なども戦争を賛美しております。一般の国民は推して知るべしと思います。

もう一つはマスコミにあります。当時の大阪朝日新聞が日本軍の振る舞いを批判した記事を書いたら、新聞の不買運動が起こり、部数が激減しました。そのため次から日本軍を応援する紙面に変えた途端、部数が激増しました。当時はテレビがありませんので、新聞記事は大きな世論となります。

一方、戦争に批判的な国民は「非国民」となじられました。まさに同調圧力により戦争推進という空気になっていったのです。

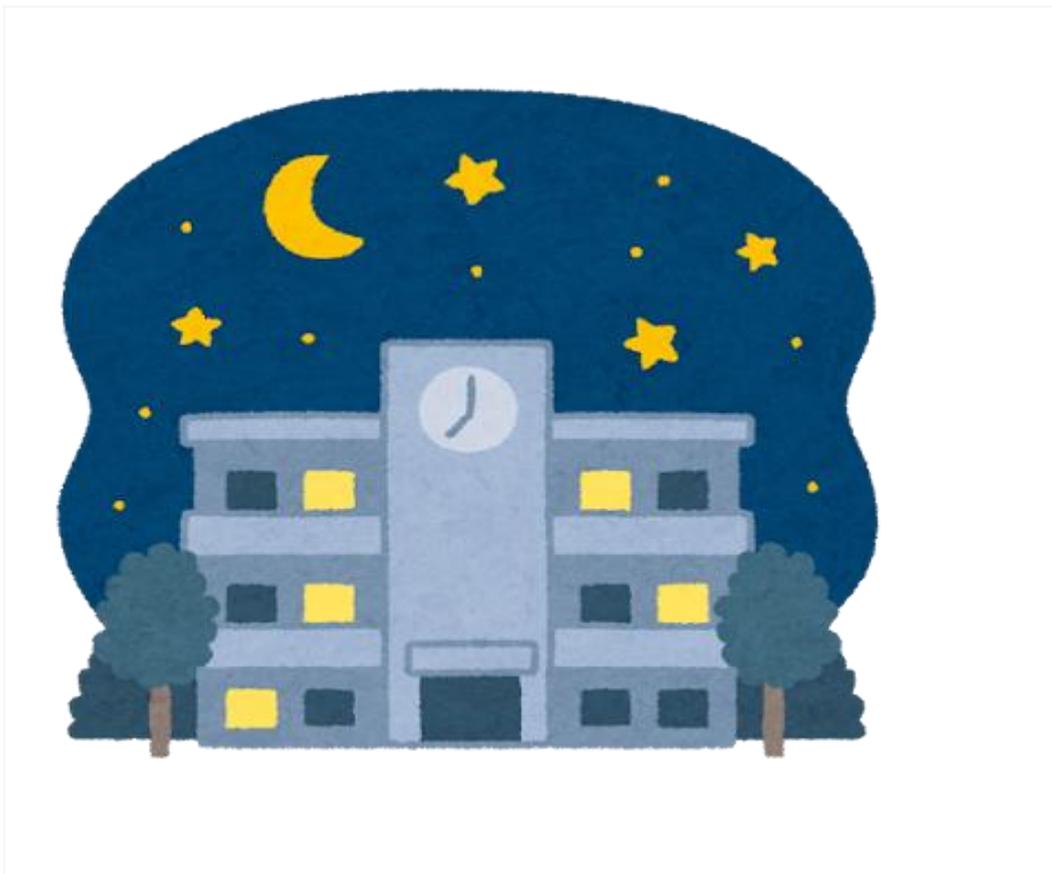
ではそうならないためには何が大切なのでしょうか。それは教育です。ただし方向性やあり方が間違った教育では同じ轍を踏みます。真っ当な教育でなければなりません。真っ当な教育の根底には民主主義と国民権があると思います。すなわち国のあり方を決めるのは国民1人1人で、みんなのことはみんなで話し合っ決めていくことです。

一方、教育の裏返しは「学ぶこと」です。1人1人に学ぶ権利が保障されなければなりません。学ぶことにより情報や知識を得て、考え、咀嚼し、判断します。社会をよりよくしようとする知恵や叡智が生まれます。しかし、学ぶ機会を奪われた方々、今も奪われている方々は少なくありません。その原因は戦争、差別、貧困、病気、不登校など様々です。

その学ぶ場の選択肢の一つとして私たちが関わっている夜間中学があ

ります。2016年に教育機会確保法が成立し、10年ほど前までは公立の夜間中学は30校余りでしたが、今は62校に増えました。喜ばしいことです。一方その教育の中身が大切です。学びを望む方々の実態に即した運営、授業が展開されなければなりません。授業を終え、「よし明日も来よう、次の授業が楽しみだ」と思われるようなものにしなければなりません。その根底には「共に学ぶ」という姿勢が大事だと思います。

本日、これからの講演、体験発表を通して、温かい有意義な時間を共有し、共に学んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



2. 出席者代表挨拶



さっぽろしりつせいゆうかんちゅうがっこう
札幌市立星友館中学校

こうちょう やまだ てつや
校長 山田 哲也

ただ今ご紹介をいただきました、札幌市立星友館中学校校長の山田と申します。「2025年度北海道夜間中学交流会」及び「札幌遠友塾自主夜間中学35年の集い」の開催に当たりまして、ご挨拶申し上げます。今日は、日頃より夜間中学の活動に深いご理解と温かいご支援をいただいております議員の皆さま、教育委員会の皆さま、また、夜間中学の活動を支えていただいている関係の皆さまにお越しいただき、このように盛大に開催できますことを、心からお喜び申し上げます。特に今年度は、札幌遠友塾自主夜間中学様が設立されてから35年の節目を迎えられ、その喜びもひとしおのことと思います。平成2年の設立以来、「学びたい人が、生きることの証と喜びを見いだせる場、仲間と共に楽しく学べる場」を目指して個に寄り添った学びの機会を提供され、長きにわたり実践を積み重ねてこられましたことに、心から敬意を表します。

さて、2016年に、いわゆる「教育機会確保法」が成立して以来、各地で夜間中学校が注目され、今年度は新たに9校が開校し、32の都道府県と15の指定都市に62校が設置されるに至りました。本校の

はなし きょうしゅく ほっかいどうはつ こうりつやかんちゅうがく かいこう ねんめ むか
話で恐縮ですが、北海道初の公立夜間中学として開校4年目を迎えた
せいゆうかんちゅうがっこう さくねんど こみゆにてい すくーる とりくみ
星友館中学校は、昨年度からコミュニティ・スクールとしての取組を
どうにゅう あら たいせい がっこうんえいきょうぎかい こうないほしゅう
導入しております。新たな体制である「学校運営協議会」では、校内募集
せいとかんじ せつてい せいと だいひょう こうない こえ かいぎ ば とど
による「生徒幹事」を設定し、生徒さんの代表が校内の声を会議の場へ届
しく ととの とりくみ せいと ねが
けることができる仕組みを整えました。このような取組は「生徒さんの願
よ そ めざ ほんこう うんえいほうしん せいと
いに寄り添う」ことを目指す本校の運営方針とつながるものとして、生徒
かんじ みな にな やくわり たいせつ かんが
幹事の皆さんが担う役割を大切にしていきたいと考えています。

ほんこう やかんちゅうがく せんざい おお かた し
また、本校をはじめとする夜間中学の存在を多くの方に知っていただ
さまざま かたち しょうほうはっしん と く ことし なつ
けるよう、様々な形での情報発信に取り組んでいます。今年の夏には、
てれびきょく ばんぐみきかく はなし ほんこう かいこうじゅんぴ ころ せわ
テレビ局からの番組企画のお話があり、本校が開校準備の頃からお世話
くどうけいいちさま ほっかいどう やかんちゅうがく かいきょうどうだいひょう
になっている工藤慶一様に、北海道に夜間中学をつくる会共同代表の
たちば かんしゃ めたる わた ようす ほうえい
お立場として感謝のメダルをお渡しする様子を放映いただきました。この
きかい こんご たいせつ やかんちゅうがく しょうほう すこ おお かた とど
ような機会を今後も大切に、夜間中学の情報が少しでも多くの方に届
し ねが
き、知っていただけることを願っています。

さいご がつこのかつ ほっかいどうしんぶん まな
最後になりますが、9月9日付け北海道新聞に、『学びたい』かなえる
やかんちゅうがっこう みだ どうない じしゅやかんちゅうがく かか きじ けいさい
夜間中学校」の見出しで道内5つの自主夜間中学に係る記事が掲載され
おお かたがた やかんちゅうがく とりくみ し おも
ました。多くの方々に夜間中学の取組のことを知っていただきたく思う
げんざい やかんちゅうがく たすさ わたし きすな ぶか
とともに、現在、夜間中学に携わっている私たちの「絆」も、より深
かん
めていきたいと感じたところです。

ほんじつ こうりゅうかい さんか みな ゆういぎ とぎ
本日の交流会が、参加された皆さまにとって有意義なひと時となりま
ねが わたくし あいさつ
すことを願ひまして、私からのご挨拶とさせていただきます。どうぞよ
ねが
ろしくお願いいたします。

3. 講演「札幌遠友塾の歴史と今後の課題Ⅱ」

札幌遠友塾自主夜間中学・北海道に夜間中学つくる会

工藤 慶一



今から 10年前の札幌遠友塾25年の集いで、それまでの受講生・スタッフのみなさんとの間に起きた様々なできごとを紹介しました。10年後の今回も、同じような内容をご指定して頂きましたので、初めからのことも少し織り交ぜながら今までを振り返ってみます。皆さんのお手許にある年表（78～81ページ）は、前回作成した表に10年分を新たに付け加え、さらに生徒さんとスタッフの年度ごとの人数の表（82ページ）も同じようにしてつくりました。

この10年で、やはり一番大きかったのはコロナでした。2020年3月頃から2022年3月頃まで、どんな立場の人にとっても、コロナは罪を犯したのではないかと思っています。私たちも、たいへんな思いもしましたけれども、いいこともありました。それは、遠友塾の授業もできない、向陵中学校も使えない、教育文化会館のような市や道の公共施設も

全部閉鎖されているという中で、私たちはクラス毎に担当者を決めて、受講生の方々に必ず月1回は電話で連絡を入れることにしたのです。これを4か月間続けました。そのうちに、授業を共にしているだけの関係ではなく、違った思いが浮かぶようになりました。それは、何と言っているんでしょうね、親密の度合いが、それまでと違うんですね。今日これから発表される坪谷さんも含め、あの時、私は7名の受講生に電話をずっと続け、結果的にそれが映画「新渡戸の夢」の撮影ができるくらいの間柄につながったんですね。あの時のことがなければ、これほど親しくなることはなかったのではないかという感じがしております。

それともう一つは、このコロナの約2年から3年にかけての過程をどのような組織体も様々振り返る必要がありますが、これについては前代表の遠藤知恵子さんによる「コロナ禍での札幌遠友塾自主夜間中学～人と人とのつながりを求めて」という文がありますので、いつか皆さんに紹介したいと思います。結論としては、コロナは確かに見つかったけれども、このおかげで私たちスタッフと受講生さんとの関係は急速に縮まった、仲良くなれた、本音を語れるようになったとの思いを強くします。本当に、「禍転じて福となす」とはこのことかなと思っています。

<夜間中学の始まり>

夜間中学は、非常に戦争というものと時代背景が一致しておりまして、1947（昭和22）年に、既に大阪で、公立の夜間中学校が誕生しています。学校を開けていても、ほとんど生徒さんは来ない、当時は、子供も働いていたからです。夜間に開くということが考えられるようになりました。それを作った先生方は非常に苦労されたと思います。

北海道に目を向けて考えてみますと、1949（昭和24）年に、ある未公表の政府資料があります。小中学校の長期欠席児童の数です。これがなんと74万名弱、けたたましい数字になっています。この中で、北海道が全国の中で最多の5万5千名、約1割の生徒が長期欠席のままだったというデータが残っています。しかも、この調査には、東京都、沖縄県、高知県はデータを出すことができませんでした。沖縄県は、当時アメリカ軍政下にありしたので調査ができない、東京都はあまりの爆撃で学籍簿そのものが消失するという事態の下で、どこをどうしたらいいのかわからない中、データを提出できませんでした。ただ、やはり気になるのは、東京、沖縄を除いて、なぜ北海道が1番多かったのだろうか。それから、かなり年数が経ちまして、2020年の国勢調査において初めて義務教育を終えていない人の数がわかるようになりました。

10年来、「小学校はでたが、中学校はでていない人の事情が分かるよう、質問を改めてほしい。」というお願いを文部科学省経由で総務省に訴え続けてきて、それがようやく実現した結果、その数がわかるようになりました。この結果、義務教育未修了者数が、北海道が全国の中でダントツ1位と多かった。5万8千4百名。2位の愛知県が4万3千名ですから、とにかく多い。

<北海道は、なぜ学べなかった人が多い？>

なぜ北海道が、これほど多くの人々が学ぶ機会に恵まれなかったのか、ということになります。戦前の事情については、話せば長くなりますが、北海道と沖縄県は明治以降、様々な制度が本州に比べて10年から20年遅れていたんです。学校制度もそうなんです。ようやく大正の末期になっ

た時に、数の上では基準に追いついてきたのですが、ただ裏がありまして、通常の尋常小学校ではなく、簡易学校ということで、例えば、「自分の名前が書けたら、それで終わり」というような形だけの教育もあって、なおかつ、そのあとに、戦争に向かって国民学校ができ、いわゆる勤労動員が多かった時代になりましたので、少なくとも戦前においては、北海道は、きつかったのではないかと思っています。

そして、なぜ戦後になって、このように北海道に1番良くないことがおきたのかかという、これははっきりしています。戦後のドサクサの中で、様々な、例えば、外国から引き揚げてきた人たちは、どうしたかと言いますと、政府は二度に渡る閣議決定で「北海道の開拓に入る」という方針を立て、北海道もそれを受け入れました。受け入れた側の話として、雪印乳業の創設者である黒澤酉蔵は「これは失敗を約束された制度である。」と悔いて、そのように書いています。まず昭和20年3月の東京大空襲の直後に、二度目は終戦後の昭和20年11月に発令されたものです。こうして本州の爆撃被災者、さらに樺太・満州・南方諸島・北方領土から引き揚げてくる人たちが北海道開拓に入りました。しかし、明治以来の開拓で肥えた土地がない中で、山間へき地に入っただけです。近くに学校はありません。子どももいっぱいいました。そうすると、その方たちはどうなるのか。やはり、義務教育は終えられなかったんだと思います。そういう方たちが、札幌遠友塾には、たくさん来ました。本当に、たくさん来ました。その証拠に、昭和20年の人口が、たった6年で北海道の人口が90万人も増えました。今、北海道の人口は500万人ですよ。90万人という数字がどれほど大きいものか、おわかりになるだろうと思います。これは、現実にあったことなんです。しかも、それを戦後のドサクサが解

消されて、ようやく何とかできるんじゃないか。もちろん、皆さん学齢期を過ぎていますが、何とかしようと思ったときに、教育を考える人たちの中に、大きなうねりとなることはなかった、即ち「置き去り」になったわけです。学べなかった原因は、戦争の他にもたくさんあります。北海道で大流行したポリオ（小児マヒ）のような病気の問題もありました。遠友塾にも何人かがポリオのため車椅子で通ってこられました。

このため星友館中学校をつくる際に、必ず私たちが要望してきたことは、絶対に交通の便が良く、エレベーターや多目的トイレがある学校でないといけないということでした。さらに、不登校やひきこもり等で学ぶ機会を失った方、それから無戸籍の方も（だいたい兄弟単位で20歳を過ぎてから）来られました。さらに外国から日本に来られた方、こういう人たちが夜間中学に学びに来ます。

コロナの時、10万円の特別給付金という制度があって、この時は遠友塾も開けなかったんですね。ではなぜ、記入した用紙とコンビニに行ってコピーした自分の証明書を合わせて、発送することができたのでしょうか。これはクラス毎ですけれども、「こういう書類がいくから届いたら連絡ちょうだいね。」と言っておき、電話のやりとりで記入をして、その結果として、「10万円入ったよ」という通知を受けたということがありました。

それから、特に、外地からの引き揚げで1番多かったのは、樺太、今のサハリンから引き揚げてきた人たち40万人です。船で函館に着き、援護局で手続きをして、全道各地に入りました。

広島や長崎で被爆をして長い間、本州のいろいろな所を回って北海道に来たという方も多かったのです。6月に遠友塾卒業生で被爆体験のある

かねこひろこ こうえん いただ かねこ
金子廣子さんに講演をして頂きました。ありがとうございました。金子
さんが「平和継承」という、このような本を持ってきてくださいました。1冊
1,800円です。4冊持ってきてくれましたので、購入したい方は金子
さんの所においでください。

さっぽろえんゆうじゅくじしゅ やかんちゅうがく かいこう ほっかいどうしんぶん ねん がつ にち
<札幌遠友塾自主夜間中学の閉校> (北海道新聞1990年3月25日)

1990年4月、当時の札幌市民会館
で授業が始まったのですが、3月末の
日曜日、北海道新聞の朝刊に、このよう
な漫画入りの記事が載りました。
このイラストが助かりましたね。
これを見ただけでわかりますよね。
このように月が出ている夜に子どもと



おじいちゃんが勉強している様子です。「やる気あり」と書いてあります。
新聞に掲載された当日朝6時から電話が鳴りっぱなしでした。3人で電話
を受けたんですが、100名を超えまして、合計150名位の申込みがあ
りましたが、50名位の方は、とても無理だということで翌年の入学に回
ってもらいました。スローガンは「学ぶことは生きることの証と喜びにな
る」です。遠友塾という名前は「遠友夜学校」から頂きました。

遠友夜学校は明治27年から50年間続きました。ところが、昭和19
年、終戦の前年に、この学校は閉校になりました。なぜかと言いますと、
様々な理由があるのでしょうけれども、遠友夜学校に軍隊の人が来て、
「軍事教練をやりなさい。」という命令が出ました。とうとうスタッフの
大学生に拳銃を突き付けたという記録が残っています。そういう時代があ

ったんですよ。ですから皆さん、夜間中学があるということは平和のシンボルだと言えませんか。

忘れえぬ受講生の方は、たくさんいますけれども、亡くなった桑山玉枝さんがこのようことを書いています。「覚えられない自分が情けなくて自宅の窓から見える藻岩山に向かって何度も涙を流しました。そこで、スタッフの横山さんに「やめようかと思っている」と相談しました。「もう少し頑張っ」と励まされ、気を取り直しました。今日これから、横山さんも発表します。是非お聴きください。

このように、めげる受講生さんを必死で支えるスタッフに、「教える」という感覚はありません。いっしょにやりましょう。いっしょに学びましょう。とにかく、やりましょう。もう、それだけなんです。だから「教える」という感覚は消えるんです。

<教室場所確保の苦難と輪の拡がり>

しかし、教室の場所確保の苦勞が始まりました。1990年4月から利用し、2007年3月耐震構造の問題で取り壊しになるまで札幌市民会館を使っていました。2002年の新聞で市民会館5年後取り壊しの記事が載りましたので、それから、遠友塾の教室確保の苦勞が始まりました。途中、教育文化会館に移ったのですが、ここも2年間使わせて頂きました。料金の面で、いろいろなことがありました。でも、やはり私たちは学校の教室を使わせてほしいというお願いを札幌市教育委員会（以下「市教委」）にしました。今日、来られている伊藤フサ子さんが「学校の教室で学びたい。私は1度も学校の門をくぐったことがないので、学校で学びたい。」とおっしゃっていました。私たちは、その願いをかなえたかった

んです。地下鉄の駅の近くで交通の便のいい学校を紹介してもらえないかとお願いしました。

<北海道に夜間中学をつくる会設立>

そのために、私たちは、「北海道に夜間中学をつくる会」という組織を遠友塾と別に設立し、5項目の要望書を掲げ、北海道と札幌市に提出しました。①自主夜間中学に対する支援、②公立の夜間中学の設置、③小中学校への大人の受け入れ、④自宅から出られない人たちのための訪問教育の実施、⑤市立病院とか区役所とか市役所に書いてある難しい漢字にふりがなをふる、というものです。

<札幌市が教室提供>

2008年9月、札幌市が翌年の4月から向陵中学校の使用を決定しました。ほとんどの中学校が断ってきましたが、唯一、向陵中学校のみが、校長先生はじめとする教職員と生徒さん、PTAと連合町内会の方たちも含めて支援をしてくれました。道新に載った記事ですが、遠友塾という看板まで作って頂きました。この看板を作って頂いた時、うれしかったですね。受け取った時は、涙がこぼれて仕方ありませんでした。

<その後の教室>

途中、コロナのため向陵中学校が使えないことがありました。その間は「教育文化会館」や「かでの2・7」を使わせて頂きましたが、現在は再び向陵中学校で授業を行っています。



あわ 併せて、あさひかわえんゆうじゅく 旭川遠友塾が2008年4月、はこだてえんゆうじゅく 函館遠友塾とくしろ 釧路「くるかい」が2009年4月開校し、その時から、今回のようなほっかいどうの「じしゅやかんちゅうがくこうりゅうかい 自主夜間中学交流会」を年に1度開催するようになりました。交流会のわ なか 輪の中に、せいゆうかんちゅうがっこう 星友館中学校にも入って頂き、「自主」という名前をはずし「ほっかいどうやかんちゅうがくこうりゅうかい 北海道夜間中学交流会」にしています。

<公立夜間中学の設置に向けて>

なぜ、こうりつやかんちゅうがく 公立夜間中学の設置を求めたか、りゆう 理由は3つあります。

ひとつには、ぜんこくやかんちゅうがくこうけんきゅうたいかい 全国夜間中学校研究大会が毎年12月に行われますが、そのなか 中で、とうきょう 東京のこうりつやかんちゅうがく 公立夜間中学のあるクラスを見学しました。ちゅうごくざんりゅうこじ 中国残留孤児のクラスでした。せんせい 先生に自分の名前を付けてもらった方もいました。その

せんせい みすか ちゅうごくご ますたー にほんご おし わたし
先生は、自ら中国語をマスターして日本語を教えていました。これは私
たちにとっては衝撃的でした。やはり、専門的にやらないと駄目なこともあ
る、どうしても自主ではできないことがあるということがわかりました。

ふた め ぎむきょういく くに ちほうじちたい ほんらいせきにん お
二つ目としては、義務教育は国と地方自治体が本来責任を負うべきもの
ではないかという素朴な考えです。それまでは、市教委に市民から
夜間中学のような学校はないかと問合せがきた場合は、遠友塾を紹介して
くれていたのですが、僕らからすると紹介するだけでなく、一緒に手を組
めないだろうかという気持ちがありました。

ひと こうりつ ちんだい だ じしゅやかんちゅうがく ぼしよ
それともう一つ、公立という問題を出さないと自主夜間中学の場所の
確保において、行政は動きが少ないということがわかったからです。この
ため、すべてを掲げて正々堂々と立ち向かうという姿勢、剣道でいうと
「正眼の構え」でいこうと決めました。

ほっかいどうぎかい さっぽろしぎかい たい わたし やかんちゅうがく ほうせいび こくせいちょうさ
北海道議会と札幌市議会に対し、私たちは夜間中学の法整備と国勢調査
こうもく かいぜん かん くに いけんしよていしゅつ ようせい おこな
項目の改善に関する国への意見書提出の要請を行いました。この国への
いけんしよ りょうぎかい かけつせいりつ こっかい いけんしよ ていしゅつ ども
意見書が両議会で可決成立し、国会に意見書を提出しています。1度目は
こうりつやかんちゅうがくせっち む ほうせいび ども こくせいちょうさ ちょうさこうもく か
公立夜間中学設置に向けた法整備です。2度目は国勢調査の調査項目を変
えてくださいというものです。2度とも全会一致で採択されました。この
いけんしよ りょうほうだ ほっかいどう さっぽろし
意見書を両方出したのは、北海道と札幌市だけだそうです。これで
こくせいちょうさこうもく かいぜん おこな ねん ぎむきょういくみしゅりょうしや じったいはあく
国勢調査項目の改善が行われ、2020年、義務教育未終了者の実態把握
かのう
が可能となりました。

きょう がめん み わたし はなし しみん だいがく けんきゅうきかん
(今日のような画面を見ながらの私の話は、市民、大学、研究機関で
こうえん とき おな がめん つか
講演する時と同じ画面を使っています。)

<日本国憲法 抜粋>

大事なことを言わなければなりません。日本国憲法です。第26条には、「すべての国民は法律の定めるところにより、その能力に応じて等しく教育を受ける権利がある。」とされています。要点は、国民は等しく教育を受ける権利があるというごく当然のことです。しかし問題があります。

一つは「法律の定めにより」とありますが、「法律の定め」とは学校教育法のことをいいますが、義務教育年齢は、6歳から15歳と決まっています。15歳を過ぎた人で学校に行けなかった人には学ぶ機会が与えられないのでしょうか、という問題が出てきます。

それから、もう一つは「国民」ですよね。国民とはだれなのか、憲法第10条には、これも法律で定めると書いてあります。この法律は国籍法です。では遠友塾に来られた無戸籍で学校に行けなかった人に学ぶ権利はないのでしょうか。今、たくさん、日本に働きに来ている外国人の方、その子どもも一緒です。その子どもは外国籍ですから、学ぶ権利はないのですか、という問題が出てきます。

しかし、日本政府は国際人権規約を1979年に批准しています。「何人も理由のいかんにかかわらず、学ぶ権利がある。」ことから、批准した国はそれをやり遂げなさいという内容です。日本政府は「この規約に制限を受ける」と国会で答弁しています。国籍、年齢は関係ありません。とにかく、本人は学びたい意志があって、相談の結果、「なるほど」ということになれば、だれでも夜間中学に入れるということになる法律が必要だったのです。

<教育機会確保法 抜粋>

ここで出来たのが2016年12月に公布された「教育機会確保法」と

いう、これが一番大事な法律です。基本理念ですよ。「義務教育の段階の普通教育に相当する教育を十分に受けていない者の意志を尊重しなさい。」いいですか、「形の上で学校を出た」、「学校に行かないで卒業証書もらった」ということは関係ないんです。既存の学校の卒業証書があろうがなかろうが、自分が十分に教育を受けていないと自分で判断した人は教育を受ける権利があるんだ」と書いてあります。次に、年齢、国籍その他おかれている事情にかかわらない、理由はいらぬ、要するに、本人が学びたいという意志があるか、だけなんです。これで、その能力に応じた教育を受ける機会が確保されるようにするとはっきり法律で書いてあるんです。ですから、夜間中学は、この理念のもとに、今、続々とできているわけです。

<教育機会確保法の成立後>

具体的には、私たちによる市議会への「公立夜間中学の速やかな設置を求める」陳情が2017年2月6日の札幌市議会文教委員会で全会一致で可決され、続いて2月27日の札幌市議会本会議で採択されました。このうな中で、本当に札幌市議会の各会派の議員の方々にお世話になりました。また、北海道教育委員会（以下「道教委」）による「夜間中学等に関する協議会」が開催され、関係者による年2回ほどの会議があり、道内での夜間中学設置に関する議論が現在も行われています。

そこで、いよいよ札幌市立の夜間中学の開設に向かいます。

<札幌市立星友館中学校の開校>

2019年2月、札幌市の教育長は本会議で公立夜間中学校の開設を

検討するとの答弁をいたしました。これによって、担当者が決まります、柴垣さんという方です。その方が4月以降、毎週水曜日に遠友塾に来ました。そして、半年間、理想の夜間中学校を教えるという姿勢で来られました。そうすると、それまで、夜間中学を作るのか作らないのかという議論の堂々巡りをやってきた関係が一変しました。これは、本気で私達も遠友塾の経験をお伝えして、何とか良い公立の夜間中学を作っていこうという気持ちになりました。

併せて、2019年には、札幌市長選挙の公約で、候補者のお二人とも「公立夜間中学の設置」を掲げていました。そして、翌年の2020年6～7月に「公立夜間中学の在り方検討会」が開かれ、外部委員8名のうちの一人として私も参加しました。その場で自主夜間中学30年の経験をお伝えすることができました。4回の会議で回を追う毎にある一つの罫囲いが作られてきました。それは、はっきりと感覚的にわかるものです。

まず、札幌市のつくる公立夜間中学は、市民みんなで総がかりで作る学校なんだという考え方、それから当事者第一ということ即ち生徒さん第一、それから、常に変化していく学校とその仕組みを作るんだという共通理解です。これはですね、このような宣言を掲げる学校はあまりありません。

翌2021年2月パブリックコメントを実施し、2021年6月基本計画が確定し、8月には夜間中学に関する市民説明会が「アスティ4・5」で開催されました。当時、コロナの真最中でした。当時の末原教頭先生が「夜間中学は不要不急ではない、必要だからやるんだ。」と言って対面で説明会を実施し、オンラインを兼ねて開催されました。

＜札幌市立星友館中学校の際立った特徴＞

目指す姿は、「生徒の誰もが安心して、学びの主役となれる多様性を尊重する学校」であり、全国の羅針盤となる夜間中学です。しかも、単独校であり、これは県立を除くと全国初です。本州のある夜間中学関係者は「体が震えてきた。」ということをしていました。

近隣住民の理解があり、交通アクセスが便利で、校舎はバリアフリーの資生館小学校に、修業年限は3年だが、パブリックコメントの意見を受けて、「在籍上限原則6年」となりました。これは6年以下でもいいし、6年を超える可能性もあることを示唆しています。

それから、「これは良かった」と思うのは、「入学が9月までできる」というのは、全国初ではないかと思えます。少人数の指導体制の充実、ボランティアスタッフとの連携、養護教員の配置、スクールカウンセラーの派遣、就学援助に類する経済的支援の実施、給食の検討などです。

様々な関係機関や団体との連携として、札幌遠友塾自主夜間中学、札幌市若者総合支援センター（就労支援）、公益財団法人札幌国際プラザ（外国人の方たちに対する支援）、札幌大通高校が挙げられています。

大通高校も就学上限年限が6年となっており、本人が期間を選択できます。そして、継続的な改善の取組として、学校運営協議会を活用し、ここに札幌遠友塾の黒澤代表、「北海道に夜間中学をつくる会」の共同代表である私が入り、さらに星友館中学校の生徒代表と学習サポーター代表も加わっています。生徒代表の中に、必ず2～3名は遠友塾出身者がいます。

星友館中学校は、2020年4月に開校しました。当初在籍者は66名。現在は100名を超えています。全国で2番目に多い規模です。ここで思い出すのは開校前に、末原教頭先生が私に「工藤さん、私たちにまだ何か

必要なことはいませんか、入学式の時の生徒の挨拶は、どなたを考
えていますか。」と聞かれました。教頭先生の考えた人と私が考えた人がま
たく一致したんです。その生徒代表の挨拶をしたのが、札幌遠友塾出身の
酒井順子さんとモラル・カマルさんです。

酒井さん、ちょっと、お話を頂けませんか。

<酒井順子さんの話>



皆さん、今日は、35周年

おめでとうございます。

私は、遠友塾の開校を道新で

35年前に知りました。

私は、学校の勉強をする時に

両親が病気になりました。

それは、父が戦争で体を壊してその後、母も働いて体を壊しました。

私は兄弟の面倒を見るために学校に行けませんでした。やはり、戦争とい
うものは、いろいろなことに関わってくるなと思います。それで、私はい
つか必ず一生かけても勉強はやり遂げたいと、いつも念じておりました。
友人がいろいろな本を貸してくれて、ルビを振ってくれたりして、いろい
ろな本を読ませて頂きました。

そして、ずっと思いつめていたところ、35年前に道新に「学びたい人
はどなたでも学べる」という遠友塾の新聞を見て、私は本当に涙が出まし
た。今まで長い間待っていて本当に良かったと思いました。その時はすぐ
に学ばせませんでしたけれど、定年退職の60歳の時に学ぶことができました

た。3年間お世話になって遠友塾を卒業してから2年間再履修をして、その後、札幌東高校の定時制に行って70歳で卒業しました。1日も休まず先生にほめて頂きました。

そのようなことで本当に遠友塾のおかげで私は学ぶことができたので、何か、ご恩返しと思って、10年間遠友塾で国語科に所属して助手のボランティアスタッフをさせて頂きました。その時に星友館の開校の話があり、「つくる会」にも私はちょっとお手伝いをさせて頂いたので、札幌に夜間中学ができるということで、私は高校を卒業して10年経ったので、もう1回学び直したいと思って星友館に行きました。本当に星友館の校長先生、教頭先生、先生方皆さんに良くして頂いたんですけど、私は去年病気になりまして、手術をしなければならませんでした。でも、私は学びのおかげで、この命にかかわる病気でしたけれども、1晩とも悩んだことはありませんでした。本当に、学びは生きる上で、どんなに必要かと思えます。こんな拙い私の話ですけど、本当に遠友塾の皆さん、本当にお世話になりました。それから、星友館の先生、生徒の皆さんにも、たいへんお世話になりました。今は星友館も病気で休んでいますけれども、これから回復したら、また通いたいと思えます。本当に今日はいろいろ、ありがとうございました（拍手）。

もうお一人、紹介します。酒井さんと同じ新入生代表の挨拶をしたのが、カマルさんです。カマルさん、ちょっと立って頂けますか（拍手）。

私は、酒井さん・カマルさんは遠友塾の受講生代表として自主夜間中学の誇りであると思っています。

<北海道の基礎教育保障への模索「夢に向かう！」>

先程もお話ししましたが、全国で最も義務教育未修了の人が多いのが北海道です。しかし、各市町村に「義務教育未修了の方々の数が多い」ということを何度言っても、なかなか真剣に取り上げて頂けないケースがいまだに多いです。国土の22%を占める大きな面積、広大な地域をカバーして、冬場のツルツル路面も考慮に入れた通学保障という問題に取り組んで夜間中学に必須である対面授業を实践したいということ、札幌市の星友館中学校の経験を踏まえ、全国の公立夜間中学に関する様々な情報を参考に、関係する多くの人たちと検討を行い、知恵と熱意を結集したいと考えます。

<札幌遠友塾自主夜間中学の特色>

ここで、札幌遠友塾を振り返りますと、全国の自主夜間中学は、ほぼ1対1なんですよ。生徒さん1人とスタッフ1人。ところが、札幌遠友塾は、「じっくりクラス」は、ほぼ1対1か1対2になるんですけど、その他のクラス（1年・2年・3年）は、生徒さんは10名から20名、スタッフは15名位で、一斉授業はするんですけど、授業中に受講生の間に入ってサポートするスタッフが同じ数だけいるということです。

それから、意外と大事だと僕が思うのは、遠友塾ではコロナの時によくわかったんですけど、「はじまりの会」で、みんなで歌を歌うんですよ。あれが結構いいんじゃないかという気がしています。今3年生の私たちのクラスに、樺太の在留邦人帰国支援事業で10年前に帰国した年配の方がいます。「はじまりの会」で「赤とんぼ」を歌ったんですね。そうしたら、小学校1年の時以来、学校に行けなかったんですが、日本語で赤とんぼの

うた おぼ 歌を覚えていたんです。うた うた 歌を歌うこと、そのものがほんとうにうれしかったと
なみだ なが 涙を流していました。そういうことがありました。

さきほど はな 先程お話した「じっくりクラス」ですが、スタッフと生徒さんの数が
ほぼおな くらい になったときに、はじ じめて個別でやろうというかんがえがう 浮かびまし
た。それまでは、あつとうてき せいと 圧倒的に生徒さんの数が多くて、スタッフの数が少な
かったんですよ。これでは、たい 1対1は無理なんです。

しかし、そのいっせいじゅぎょうのやり方を取ることによって、よいこともありま
した。それは、てっていき じゅぎょう 徹底的に授業のあり方をみんなでけんとう ついきゅう 追
究する機会があるということなんです。これがほか 自主夜間中学では、なかなかやりづ
らい、いわゆるスタッフのこじんぎにたよ 頼る側面が多くなります。とうろんのまな板
にのらないケースも多いのです。

いずれにしても、わたし 30年以上こういうことを繰
りかえ 返して、あるべきすがた 姿に向かってへんしん 変身し続けています。まんねり 陥
いる危険性が少ないと思っ
ています。

<「友」と名のつく夜学校精神（札幌農学校）>

さっぽろ 札幌には「友」と名のつく夜学校があります。さっぽろえんゆうやがっこう、
さっぽろえんゆうじゅく 札幌遠友塾、さっぽろせいゆうかんちゅうがっこう 札幌星友館中学校には、ぜんぶ 全部「友」という名前がつきます。
これはえんゆうの「友」から、とっています。

めいじ 明治27年、さっぽろえんゆうやがっこうの創設時、そうせつじ 新渡戸稲造は、さっぽろのうがっこうの
がくせい 学生の中から「えんゆう 遠友になれる人」をスタッフにしたといわれています。この
「えんゆう 遠友になれる人」とは何なのだろう。なぜがくせい 学生はたくさんいるのに、な

ぜ、この人ではなくて、この人を選んだんだろう。遠友になれる人、人の気持ちがわかる人、親切な人、等々ですよね。これは何とか実践していると思います。私たちは、この精神を「ともに生き、ともに学ぶ」と表現し、「受講生さんと共にある」姿勢を堅持していきたいと思います。星友館中学校も、まさしく、その精神を継承していると思います。

<公立と自主の夜間中学の連携と学び合い>

最近、さらに星友館中学校と札幌遠友塾との交わりが濃くなってきたような気がします。星友館中学校と遠友塾があることで、毎日通うのは難しいけど週1回なら通える人、週1回では物足りず毎日通いたい人、その両方の人たちに対応できることになります。

ただ星友館中学校は、本当に大変だと思います。

<自主と公立の学び合い具体例>

星友館中学校から遠友塾が学ぶことが多くあります。

特に、星友館中学校開校の時に、最初から就学支援制度を設けていました。ところが遠友塾には何もありませんでした。そこで、私たちのクラスで、遠方から車で通ってきている受講生さんがいて、駐車料の問題が出ていました。このため2022年春から内規を改正して遠友塾でも就学支援制度を始めました。

二つ目は、スクールカウンセラーの重要性です。遠友塾を経験してから星友館中学校に行った人たちが、異口同音に「スクールカウンセラーは大事だよ」と何度も何度も私たちに教えてくれました。それで、昨年、星友館中学校のスクールカウンセラーの鎌田明日香さんに、基礎教育保障

がっかい けんきゅうたいかい はなし いただ ことし がつ
学会の研究大会で話をして頂きました。そして、いよいよ今年4月から、
さっぽろえんゆうじゅく すくーる かうんせらー がき
札幌遠友塾にスクールカウンセラーが来てくれるようになりました。もと
もと、えんゆうじゅく す た っ ぷ だ っ た か た が、ほか がっこう つと
も、遠友塾のスタッフだった方が、他の学校に勤めているのですけれど
も、すいようび よる き かうんせりんぐ おこな
も、水曜日の夜に来てくれて、カウンセリングを行っています。

こういうことがお互いの学び合いの中で出てくるようになりました。

<おわりに>

どうきょういしゅさい おんらいん じゅぎょう なか もさく げんざいおこな
道教委主催のオンライン授業の中での模索が現在行われています。
さっぽろしりつせいゆうかんちゅうがっこう きょういん はっしん べつかいじょう さっぽろえんゆうじゅく じゅこうせい
札幌市立星友館中学校の教員が発信し、別会場にいる札幌遠友塾の受講生
さんとスタッフ、さらにくしろじしゅやかんちゅうがく むす いま
さんとスタッフ、さらに釧路自主夜間中学「くるかい」とも結んで、今ま
で3回、かい ため じゅぎょう おこな あたら うご どうきょうい
で3回、お試しの授業を行っています。これも、新しい動きとして、道教委
の義務教育課の方で模索して頂いています。

さくねん どうきょういしゃかいきょういくか がいかくだんたい おこな しょうがいがくしゅう
昨年から道教委社会教育課の外郭団体が行う「ほっかいどう生涯学習
ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業」による夜間中学のない地域
できそきょういく ため じゅぎょう じっし えんゆうじゅく きょうりよく
基礎教育のお試し授業を実施するということで遠友塾も協力していま
す。えんゆうじゅく くろさわだいひょう しゃかいか じゅぎょう おびひろし ゆうばりし らいげつ むろらん
遠友塾の黒澤代表が社会科の授業を帯広市と夕張市と、来月には室蘭
市で、ねん こくご す た っ ぷ かとう ゆうばりし じゅぎょう おこな わたし
3年の国語のスタッフ加藤さんが夕張市で授業を行っています。私
もおびひろし しんしのつむら すうがく じゅぎょう おこな よ
も帯広市と新篠津村で数学の授業を行いました。やはり、やって良かった
とおもいます。

とく しんしのつむら わたし ねん こくせいちょうさ なに
特に、新篠津村は、私が2010年の国勢調査で何がわかったかという
しょうがっこう で おとな ひと どうない いちばんおお き
と小学校を出ていない大人の人たちの割合が道内で一番多かった。聞くと
やはりひ あ じゅうじろ からふと まんしゅう なんぽう あつ
やはり引き揚げの十字路、樺太から満州から南方から、みんながそこに集
まってきたという事情があることもわかりました。それで、やはり
じしゅやかんちゅうがく つく おも げんち す た あ
自主夜間中学を作ろうと思ったら現地に住んで、そこで立ち上げなければ、

できないのです。このような機会を通じて、何とか1段1段登っていきたいと思います。

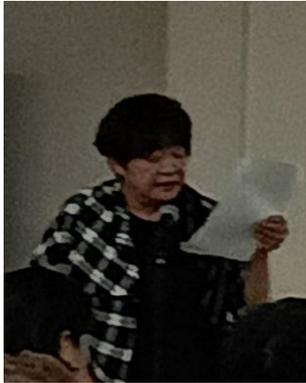
そして、今回、35周年行事として、35年分の卒業文集と諸資料の電子化を図り、DVDに納めました。卒業文集も30冊を超えると、どうにもこうにもならないものです。紙だと、やはり保存は無理だと思っています。このように、交流会が行われると記録集も出ますので、これも年々積み重なっていきます。

資料展示を「かでの2・7」（北海道立道民活動センター）の9階で1か月間行い、9月5日～6日に「チ・カ・ホ」（札幌駅前通地下歩行空間）で資料展示と説明を実施しました（76～77ページ）。「チ・カ・ホ」での資料展示は非常に良かったと思っています。中には、ヤングケアラーだった人が70歳をすぎて、今学びたいので相談したいという人もいましたので、これも非常に良かったと思っています。

これで、私の話も終わるわけですが、今後の遠友塾と北海道の公立夜間中学設置について、これからも、まだまだ試行錯誤を繰り返していかなければなりません。その時には是非皆さんのお力を貸してください。ありがとうございました。

4. 生活体験発表

(1) 「生きてきてよかった」という言葉が聞きたくて



さっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく
札幌遠友塾自主夜間中学

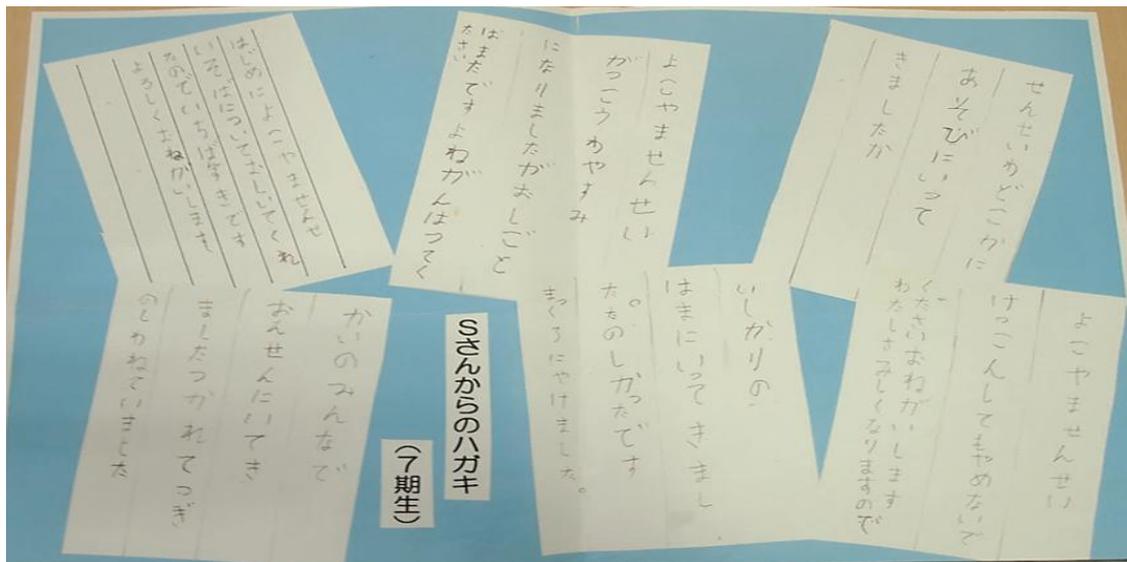
スタッフ 横山 晴美

が	こ	し	学	お	ろ	で			
こ	ろ	(い)	校	く	で	き	学		
く	で	は	は	が	ず	て	校		
ら	ず	け	(い)	か			は		学
む		け	ろ	か	べ	た	べ		校
と	学	ん	(い)	い	ん	の	ん		
こ	校	が	な	で	き	し	き		
ろ	は	あ	あ	ず		(い)	よ		
で	ゆ	る	た		う	と	う		
す	め	と	ら		は	こ	が		

こんにちは。札幌遠友塾スタッフの横山です。今見ていただいているのは、じっくりクラスで20年以上一緒に勉強しているTさんの作文です。ではこれから私の体験発表をさせていただきます。

20代の7年間、私は神奈川県で小中学校の音楽の臨時教員をしていました。荒れていて授業がなかなか成立しない学校もあり、子どもたちと格闘の日々でしたが、楽しく充実した生活でした。ただ成績を付ける時期はいつも悩み、胃が痛くなりました。成績で序列がつけられる教育の在り方や、管理的な学校の体制に、息苦しさとの多くの疑問を抱えていました。期限付きで学校を渡り歩く生活に限界を感じ、故郷の札幌に帰ってきた私のアンテナに触れたのは「共に学ぶ場を一緒に作りませんか？」という自主夜間中学設立準備会の新聞記事でした。1989年、今から36年前のことです。夜間中学について何も知らないまま、第1回の準備会に参加し、第2回の準備会が翌年1月末に開かれ、1990年4月29日、受講希望者75人、スタッフ希望者29人が集まり、札幌遠友塾自主夜間中学がスタートしました。

受講生さんの人数があまりに多すぎました。学習経験や学びたい内容が違いすぎて、授業の内容も教材も受講生さんの求めるものではありませんでした。スタッフの考え方もバラバラで、コミュニケーションが上手く取れず、遠友塾の目指す方向が定まらず、長い間混乱が続きました。その後スタッフは経験や失敗を重ね、少しずつ力をつけてきましたが、基礎からの学びを求めて、やっとの思いで遠友塾にたどり着いた人たちのなかで、授業の内容やスピードについていけず、黙って遠友塾を去って行った人もいました。募集チラシには、「あいうえお」や「たしざん」、「ABC」から学べますと書いてあります。その言葉に一縷の希望を見つけ、勇気を出して来てくれたのに、去って行った方々への申し訳なさが、心の「しこり」になっていきました。



<Sさんからのハガキ>

これは7期生のSさんからいただいたハガキです。お連れ合いに先立たれ、少しでも字を覚え、計算ができるようになりたいと入学されました。手紙が書けるようになりたいとお話されたので、夏休みに1枚書いて送ってくださいね。と私の住所を書いたハガキを渡したら、こんなにいっぱい書いてくれました。

これらは私の宝物です。でも、Sさんは1年でやめてしまいました。これ以上続けても、ついていけないと思ったからでしょう。Sさんの様な方が、安心して学べる場を作りたい。この時、私の心に種火が生まれました。7期生には他にも読み書きが不自由で、釧路から通っているご夫婦がいました。お二人とも家が貧しく、小学校1年しか通えなかったそうです。来る時は列車で、帰りは夜行バスで、家に着くのは翌朝の5時です。初めての授業の帰り、「じいちゃん、今日でやめるしかないね。」「そうだな。おらたちの来るところではないな。」お二人はそんな会話を交わしたそうです。でも子どもたちに「やっとの思いで入学したのに、たった1回の授業であ

きらめてどうするの。」と言われ、思いとどまりました。お子さんたちの
応援、お二人の学びへの情熱と努力で、なんとか卒業までこぎつけました
が、実際は全くわからない勉強をしていたので、辛かったと思います。お
二人がくじけそうになった時、Sさんからもらった手紙が大きな支えにな
ったと聞いて、とてもうれしかったです。

その後もSさんや釧路のご夫婦のように、ひらがなや数からの学びが
必要な方が入学して、去って行きました。このままでいいのか？自分がこ
こでしなければならないことは何なのか？苦悶する日々が続きました。

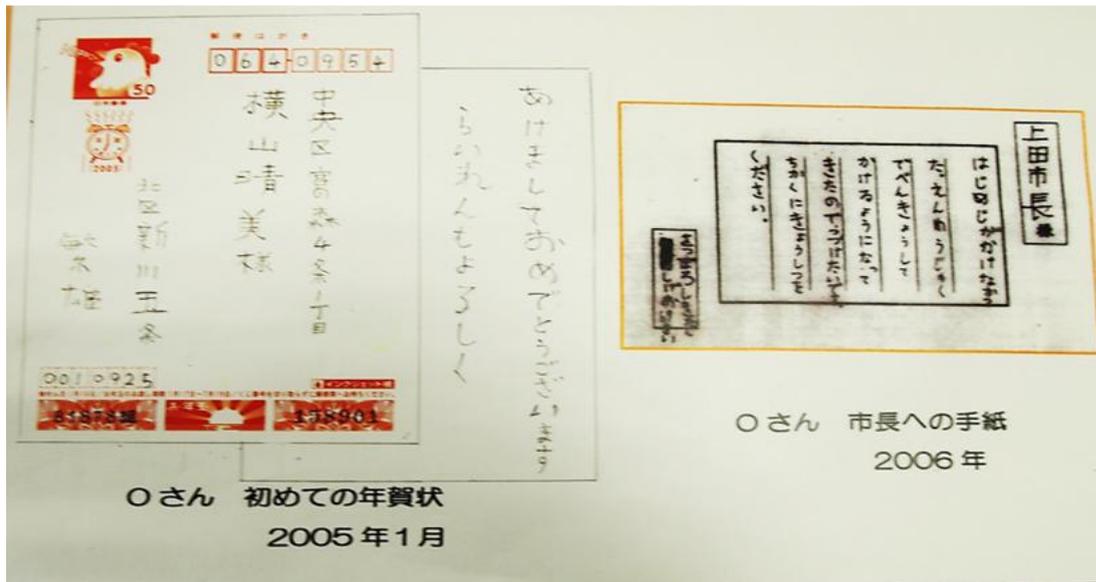
2002年、また切実な思いで学びの場にたどり着いた人が「ここは俺の来
るべき所じゃなかった」と言う言葉を残して遠友塾を去って行きました。

もう待たせるわけにはいかない。個別学習を中心とするクラスを作るた
め、学習会を立ち上げました。2003年に個別学習を中心とする「じっく
りコース」をスタートさせ、3年後の2006年に「じっくりクラス」とし
て独立しました。

忘れられない出会いがたくさんありますが、今日はじっくりクラスを始
めるきっかけを作ってくれたOさんについてお話ししたいと思います。

入学した当時、Oさんは67才でした。兄弟に見捨てられ、ホームレス
のような状態になっているOさんのことを知り、末の弟さんの妻である
Mさんがお世話をしていました。Oさんは自分の名前もひらがなで書けま
せんでした。鉛筆の持ち方から、線を引く練習から、そして「し」「つ」の
ような一筆の文字から、1回に2文字ずつ、繰り返し、繰り返し練習しま
した。学習経験がなく、自分の意志で来ているわけではなかったのに、
集中力もなく、すぐにいらいらし、できないと人のせいにして荒れてい
ました。初期の授業担当者は本当に大変でした。そんなスタートをきった

〇さんですが、少しずつ、本当に少しずつ変わっていきました。2年後のスタッフ会議の記録に〇さんの言葉が記されています。「おれ、ここに来て良かったと思うよ。」この言葉を聞いて、スタッフはうれしくて泣きました。



<〇さん 年賀状、市長への手紙 2006年>

〇さんと出会った年、私は年賀状を出しました。すると翌年、〇さんから年賀状が届きました。びっくりしました。自分の住所や私の住所まで漢字で書いた力作でした。一文字書くのにも、とても時間のかかる方です。すごい集中力で一生懸命書いてくれたことが伝わり、感激しました。書いたのが前の年なので、来年もよろしくとなっているところが愛嬌です。

そして、右の文章は、耐震工事のため市民会館が使いなくなり、学校の教室を使わせてほしいと、市長や教育委員会に送った時の手紙です。〇さんは仲間と一緒に過ごすうちに、性格や行動が穏やかになってきました。じっくりクラスに自分の居場所ができ、心を許せる仲間ができたからだと思います。たくさんの初めてを重ねてきた〇さんですが、2010年書道に挑戦しました。



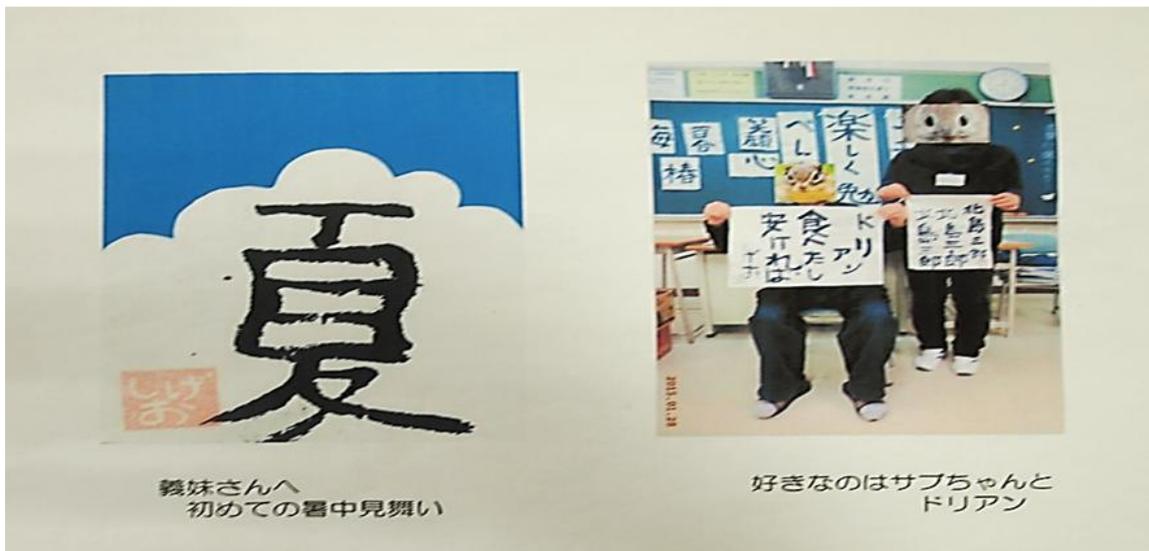
じっくりクラス 初めての書道
2010年 1月

国語の時間に
(文化祭に展示)

<初めての書道、祭>

じっくりクラスには、筆を持つのが初めての方が何人もいました。

〇さんは自分の生まれた町、月形と書きましたが、その後は大好きな北島三郎と書く練習を一生懸命にしました。そしてサブちゃんの歌のタイトル「祭」が老人ホームの文化祭に展示されました。



義妹さんへ
初めての暑中見舞い

好きなのはサブちゃんと
ドリアン

夏には暑中見舞いのハガキを一緒につくり、「いつもありがとう」と書いて義妹さんに初めての便りを出しました。

〇さんは果物にととても詳しくはなすが、中でもドリアンがいちばん好きで、書道でもこんな楽しい作品を残しています。

〇さんは遠友塾と出会って13年目の遠足を最後に、その年の秋亡くなりました。末期がんでした。幸い痛みもあまりなく、義妹さんの母親のような愛情に包まれて、安心して旅立っていきました。〇さんのお葬式は、弟さんご家族と私達だけのささやかなものでしたが、外では子どもたちの遊び声が聞こえ、会場には大好きだったサブちゃんの歌が鳴り響き、〇さんのことが大好きだった人たちが、思い出を語り合いながら笑顔でお別れしました。

「義兄を人間らしく死なせたい。」という義妹さんの言葉が忘れられません。義妹さんの願いにどれだけ答えられたのかわかりませんが、過酷な人生を歩んできた〇さんの人生最後の章が、遠友塾の楽しい思い出に包まれ、温かなものであったら、私達も幸せです。

生きることは学ぶこと、学ぶことは生きること。〇さんは私達にそう教えてくれました。

〇さんだけでなく、過酷な人生を生き抜き、学びの場を求めてようやくじっくりクラスにたどりついた方が何人もいます。そして学び続ける中で、心に残る作文や自分史を残してくれました。一人が書いた自分史が仲間の心を揺さぶり、次々と自分のことを語り始めました。それぞれの人生が響き合ったのだと思います。

3人の受講生さんの自分史のほんの一部を紹介します。

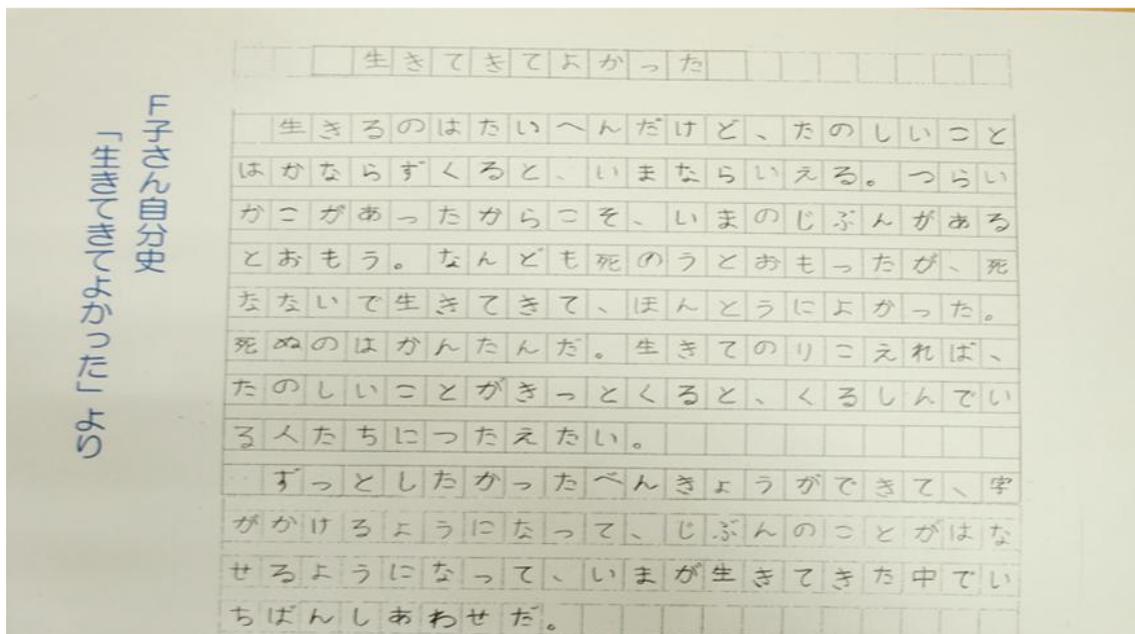
<Kさん自分史>

「私は今まで、テレビに出たり、人権救済の申し立てで、自分の事を話してきたりしました。それはこれまでの自分の生き方を少しも恥ずかし

いとおもは思おもっていないからです。一いっしょうけんめい生いきてきたと自じしん信いをももって言いえ
ます。でもそれだけではありません。私わたしのよように学がっこう校いに行いけななかかつた人ひとが
他ほかにもいいると思おもうので、その方かた々がたに遠えんゆうじゅく友ゆう塾じゅくのよような学がっこう校いがあることを知しっ
てほほしかかつたのです。今いまの私わたしのよように、楽たのしく勉べんきょう強きょうでできる場ばしよ所じよがたたくささん
ああればよよいとおもったからです。私わたしはこれこれれかららももずずつつととずずつつと遠えんゆうじゅく友ゆう塾じゅくで
勉べんきょう強きょうをつづつつけていいきます。」

<S子えすこさんじぶんし自分史>

「書かいていいるううちちに、自じしん信いがで出でてききました。誰だれととでも自じぶん分ぶんの思おもうことこを
ききちちんんとと話はなすことこがができきます。小しょうがっこう学がっこう校いの同どう窓そう会かいでも、ああのおととななししいS子えすこ
ととは別べつじん人いと言いわれれまました。本ほん当とうに自じぶん分ぶんでも性せい格かくがか変かわわつたことこにきづづいいて
いいまます。今いまままでの生せい活かつをただ書かいていいたと思おもっていまましたが、そそううででははな
いいののでです。自じぶん分ぶんがどれれだだけ一いっしょうけんめい生いきてきたのか、そそしてどれれだだけ人ひと
温あたたかかささにふれれてきたのか、私わたしの体からだに入はいっていることとにきづづいたのでです。
書かいていいるううちちに背せ負おってきた重おもい荷にもつ物すこが少かるし軽かろくかろななりましした。人じん生せいをか
いいただだけのに、新あたらしい人じん生せいの扉とびらがひら開ひらいたよようなき気きがしまます。」



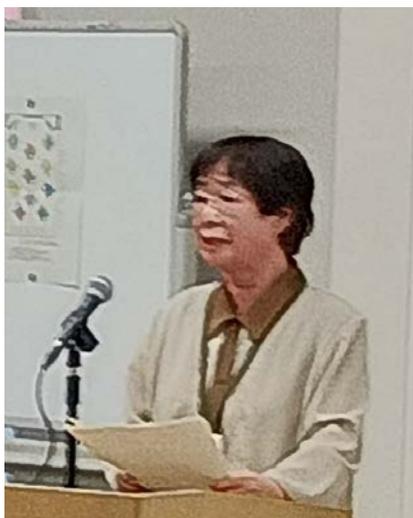
<F子さん自分史>

「生きるのは大変だけど、楽しいことは必ず来ると今なら言える。辛い過去があったからこそ、今の自分があると思う。何度も死のうと思ったが、死なないで生きてきて本当に良かった。死ぬのは簡単だ。生きて乗り越えれば楽しいことがきっと来ると、苦しんでいる人に伝えたい。ずっとしたかった勉強ができて、字が書けるようになって、自分のことが話せるようになって、今が生きてきた中で一番幸せだ。」

F子さんの自分史のタイトル「生きてきてよかった」この言葉が聞いて幸せです。文字をもたず、過酷な人生を歩んで来た方が、心と体に積もらせてきた悲しみや悔しさ、生きる喜びを、文字を得ることにより、言葉として溢れ出させる瞬間に立ち会える喜びが、夜間中学のスタッフを私が長く続けてこられた大きな理由です。遠友塾と出会え、私の人生は豊かになりました。出会ったすべての方々にありがとうと伝えたいです。そして、80年近く脈々と続いてきた夜間中学の運動の片隅に、自分がいられたことを誇りに思います。



4. 生活体験発表



(2) 私と孫と遠友塾

札幌遠友塾自主夜間中学

受講生 坪谷 彰子

私は道南の奥尻島の出身です。昭和24年生まれです。子供の頃、私の地区には本屋さんも図書館もなかったので、唯一自分の本を持ったのは小学校に入学した時の数冊の教科書でした。うれしくてすみからすみまで繰り返し、よみました。学校でも図書室が無かったが、本箱4本位にびっしり本が入っている教室があったので、お昼休み・放課後毎日通いました。先生があきれて時々ないしょで「家で読みなさいよ」と言って貸してくれました。家に帰ったら手伝いがあるので、中々読めません。こっそり布団の中で電池のあかりで読んだり、押し入れに入って読んだり、親にいつも目を悪くすると叱られていました。

今では、ほとんど自分の時間なので、図書館から借りて年間250冊位本を読んでいます。食べる、寝る、本を読むのが何よりの楽しみです。図書館に通っているうちに、60才の時遠友塾のパンフレットを手にし、「これだあー」と思いましたが、持ち前の臆病と優柔不断な性格から、一歩も踏み出せないでいました。

小さい頃から体が弱かったので、学校は休みがちでした。

なんとかもう一度きちんと勉強したい。

相手に伝わるような文章を書けるようになりたい。

人前で思っていることを話せるようになりたい。

苦手な英語も少しは・・・と段々思いがふくらんできました。

70才の時に今までお世話になっていた会社が急に閉めることになり、無職になってしまいました。毎日の仕事から解放されて、気が緩んでしまい、臍抜けになってしまいました。

それで、当時小学校5年生だった孫に打ち明けたら、「ばあちゃん、もう1回勉強するって、すごい！絶対行くべきだよ。応援するから。」と背中を押してくれました。今まで困難なことがあれば逃げる事ばかり考えてきたので、3年間どころか1年も続けられるだろうか不安でした。途中で逃げたら恥ずかしいから、孫と2人だけの秘密にしておくよう約束しました。遠友塾のパンフレットに出会ってから10年目です。

ときどきしながら、早速遠友塾に連絡を入れました。3月も末だったので春休みに入っており見学できないため、「入学式に出てみてそれから決めたらいいでしょう」と前遠友塾代表の遠藤知恵子先生に勧められました。遠藤先生の電話の対応で、私の心は決まりました。この時、見えてない相手に接する時の態度って大事だなあと思いました。「いらっしゃいよ」と呼びかけられたような気持でした。

2019年4月10日、入学式に見学出席しました。不思議なもので教室に入ったらジワーとききました。私は70才の中学生になったのです。毎週水曜日が待ち遠しくなり、一週間の起点が水曜日になりました。熱の出やすい体質なので、休みたくないはずい分気をつけ、ビールの量も減らしました。

入学当時、一年間も続けられるだろうかと不安があったのですが、級友
や孫の励まし、先生・スタッフの皆様にご導かれて、一昨年立派な卒業証書
と皆勤賞をいただきました。

遠友塾からの卒業証書も嬉しかったのですが、背中を押してくれた孫か
らの卒業証書

ご卒業おめでとうございます。

ばあちゃんの家に来るたびに、楽しそうに学校の話をしてくれる

ばあちゃんが私にとっては大好きだよ！

今年も、来年も、またいっぱい聞かせてね！

令和5年3月16日

ばあちゃんの孫 杏樹

私の宝物です。毎週水曜日、これをカバンに入れて登校しております。

遠友塾は何よりもテストがないところが最高です。時々、お土産とか、
お中元・お歳暮などがありますが、ネーミングが・・・ですね、つまり宿題
です。授業は色々な心のこもった手作りの教材を使って、ゆっくり楽しく
かみくだいて教えてくれます。「分からなかったら質問してよ」「休み時間
でもスタッフに声かけてよ」「少し早く登校して分からない事聞いてよ」と
声をかけて下さいます。

昔、こんなふうな授業を受けていたらもう少し頭が良くなっていたんじゃないかと思えます。問題をといたら、赤ペンで、まる、花まる、very goodシールなどをもらうと、不思議、昔の子供時代にもどっているんです。嬉しくてもっと頑張ろうって気になるんです。

私は子供をあまりほめないで育ててきたので、遠友塾に入ってほめられる嬉しさを知り、今36才の娘をほめちぎっています。娘から「母さんも大人になったねえ」と返されています。

とにかく、先生・スタッフ、級友、皆さんあったかいんです。3年間でやめたくない、もう一度という人が沢山いらっしゃいます。皆さんの中にも今度こそはしっかり勉強しようと、繰り返し続けていらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。

今、私は2回目の3年生です。足が痛い、膝がいたい、耳や目が・・・色々困難がありますが、「皆一緒だよ、がんばるべえー」と励まし合いながら、今日も「こんばんは」と笑顔がこぼれます。水曜日休んだらもったいない、損をする、絶対休まないぞって気になります。まさに明日も行きたい学校です。楽しいんだから!! あったかいんだから!!

これから教師になる若い人や、不登校の子供たち・親御さん、何かに迷い悩んでいる人たち、もう少し勉強したいと思っている人たち、私達遠友塾に遊びに来て欲しいです。遊びに来て欲しいです。何かを持って帰れると思います。

4. 生活体験発表



(3) 「くるかい」と私の学び

くしろじしゅやかんちゅうがく
釧路自主夜間中学

「くるかい」

だいひょう かねむら のぶこ
代表 賀根村 伸子

ほんじつ は、えんゆうじゅくさん 35しゅうねん、まことにおめでとうございます。

えんゆうじゅくさんが 20しゅうねんを迎える頃、夜間中学「くるかい」の夜行列車は走り出しました。当初は、新聞、テレビ等で度々紹介して頂きましたので、かなり周知されて、申し込みが予想以上となり、事前に面接やプレ学習をすることにし、またスタッフ研修も行い、テキスト作りなど、当時の添田事務局長の先導により、準備を念入りにしました。

開校のほぼ直前になり、「私に代表を」との依頼を受け驚きましたが、何かお告げのような感じに聞こえて、素直にお受けいたしました。けれども、教師歴のない私にとっては、学校運営は未知の領域です。経験豊富な現職教師や元教師の方々の支えがあり、学習会及び様々な行事も難なく運ばれました。有り難い事でした。

実際の大変さはありました。マンツーマン方式で始めたものですから、学習会ごとのペアの設定に苦慮した事です。毎週学習会が終わると、支援部長さんらと添田事務局長の勤める教育大学の一室を日中お借りし、組み合わせの検討をしておりました。また、夜間中学の存在を周知させる事は容易ではありません。チラシを作っても置いて頂ける場所は限られていますし、回覧板などでの周知も断られておりましたから、知って頂くのに

は時間がかかりました。釧路の場合は、夜の交通の便の悪さもありませんし、冬場の夜道の路面の悪さもネックです。そのこともあり、現在はグッと学習者さんは減りましたが、それでも当初からの方もおられ、また新たに来ておられる方々も相当に学ぶ意欲が凄いと感心しております。

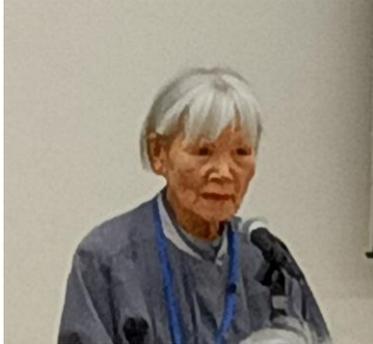
長年皆さんの学びの姿勢から感じる事は、それぞれの学びたい気持ちは、単に読み書きや計算を覚えるだけではなく、スタッフと学習者さん、学習者さん同士の繋がりが、互いの人生をも支え合っている事です。短い90分の学習時間ですから交流は少ないのですが、若い人も、年配の人も穏やか。その空気感が心地よく感じられます。

「くるかい」も、開校して今年では17年目です。私を支えて来たものは、日々一緒に、また私以上に動いてくれたスタッフさんらのお陰ですが、もう一つの支えもありました。人間として未熟な私は、所々心が折れそうになる時も正直たまにありました。その時には自分の心の声を聴くようにしました。そうすると、学習者さんの思いが浮かび、私を振り出しに戻してくれました。それは、信頼するという、人間関係でもっとも大切な事を私は「くるかい」で教わりました。

私は、それまで人とのお付き合いに時々怖さを覚える事があり、沢山のひととの交わりが苦手でした。わいわいと楽しむ事も。それが、「くるかい」という大所帯の中に入り、また代表という立場をまかされて多くを教えられました。また、子どもの頃から、口からパツと言葉が出ない事が良かったのかもしれませんが。「くるかい」での活動は、私の心を点検する機会となり、今も学びの中にあります。これは天からのお告げに素直に従った故の賜り物だと思います。私の人生を豊かにしてくれています。ご清聴、ありがと有難うございました。

4. 生活体験発表

(4) 「くるかい」と出会って



くしろじしゅやかんちゅうがく
釧路自主夜間中学「くるかい」

がくしゅうしゃ さとう のりこ
学習者 佐藤 法子

れいわ ねん がつころ
令和5年12月頃のことでした。くしろし しょうがいがくしゅうせんたーの けいじ
コーナーに、くしろじしゅやかんちゅうがく「くるかい」のポスターを見つけました。
むね たかな お さっそくたんとうしゃ れんらく ごじつめんせつび
胸の高鳴りを押さえながら、早速担当者へ連絡しました。後日面接日の
れんらく かい だいひょうしゃ じむきょちょう でむか
連絡があり、会の代表者と事務局長が出迎えてくれました。

わたし
私は、65歳までは趣味である「ものづくり」に没頭し、「ものづくり」
に関する本は読むのですが、小説というものを読んだことがありませんで
した。わからない漢字は飛ばして読むような状態でした。「しっかりと本
を読めるようになりたい。小説という世界を知りたい。」との思いを二人
に伝え、入会を認められました。

わたし がくしゅうきぼう こくご
私の学習希望は国語でした。そこで、スタッフは北海道新聞の「卓上
四季」の書き写しを提案してくれました。新聞と言え、記事の斜め読み
が常でしたので、ゆっくりと読み書き出来ることが新鮮に感じられて嬉し
かったです。会が用意してくれた専用ノートに書き写す学習がいよいよ始
まりました。

ましろ のーと うえ わたし だいす えんぴつ はし
真っ白なノートの上に私の大好きな鉛筆を走らせる。また、数十年前に
かもと わす さ えんぴつけず ふたた あいぼう つか
買い求め、忘れ去られていた鉛筆削りを、再び相棒のように使える。この

書き写しは私の心を躍らせる、喜びの時間を与えてくれました。幸運なことに、文学好きな学習者とコンビを組めたことが、学習を一層興味深い物にしてくれました。彼女は文学の知識が深く、新聞コラムの作者や時代背景を、私にゆっくり、わかりやすく教えてくれました。私は、学ぶことの楽しさと新たな友を得た喜びを噛みしめながら楽しい時間を過ごすことができました。しかし数か月が過ぎたころに、その方が新生活を始めることになり、夜学への通学が無理になってしまいました。私は、また一人での学習になってしまったのです。でも私の周りを見渡してみると、数学や英語をスタッフとともに声を出して学ぶ学習者がいて、不思議なことに仲間意識が芽生えていたので、一人学習でも寂しさは感じませんでした。また、スタッフの人たちが折に触れ私に話しかけてくれたので、寂しさよりも学習することの喜びが勝るようになっていました。

教室の雰囲気になじんできた10月には、大運動会が開催されました。プログラムの中で、特に「玉入れ」が懐かしく感じられ、なぜか玉の中のアズキの感触にゲームを一瞬忘れてしまいました。また、日ごろ私はバス通学なので、学習終了と同時に教室を後にするため、ゆっくりとほかの学習者と話すことが少なかったのですが、当日は楽しく会員相互の交流ができて嬉しかったです。そして12月には、クリスマス・忘年会が開催。私にとってそれは超久しぶりのものだったので、現職時代を思い出し、楽しかったです。プログラムには、賀根村会長さんの趣味の一つであるミニハーブ演奏や、柔道家の事務局長が発案した、足の指でタオルを引き寄せるゲームをするなど、二人の趣味の一端に触れることができたのも嬉しかったです。そして学習者の一人である、南アフリカ共和国出身のヴァルダ・カサイさん手作りのドーナッツがとてもおいしかったです。

さいご こうれい びんごげーむ みごとびんご ととき わたし けいひん せんたく
最後は恒例のビンゴゲーム。見事ビンゴした時に、私が景品として選択し
たのは可愛らしい靴下でした。この日はほっこりとした気分になりました。

かい ねんかんぎょうじらん はる なつ ふゆ やす み さいしょ えっ
会の年間行事欄に、春・夏・冬の休みがあるのを見つけ、最初は「エッ！」
とおもいましたが、「学校行事なので当然なのだ!!」と思うと同時に、「本当
に私は学校の生徒なのだ!!」という実感がわいてきて、思わず胸を張りま
した。冬休み中の計画は、事務局 長が印刷してくれた「卓上四季」を書
き写す宿題をまず終えて、単行本を一冊読むという計画を立てたのですが、
結果はゼロ。気が付けば休みは終わっていました。退職後の帰宅は夕食前
頃だったので、夜の景色は忘れていましたが、通学すると昼間とは全く違
う市内を新鮮な気持ちでキョロキョロと楽しみながら歩いています。でも、
やはり冬期間は冬休みが終了しても、アイスバーンの歩道に足がすくみ、
1月末まで休講してしまいました。来年は路上を不安なくしっかりと歩き
たいと心から願いました。

がつ きょうしつ い ひとり がくしゅう わたし す たっふ ていあん
2月になって教室へ行くと、一人で学習する私にスタッフがある提案を
してくれました。それは、現在の国語グループ(会の創立当時から続く学習
グループ)に私を編入するというものでした。国語グループの指導者が
都合で退会されるのを機に、学習メンバー再編に合わせたものでした。そ
の後任となった方は、一人目の小田先生は「卓上四季」を、二人目の野村
先生は、文豪の作品等を交互に指導してくれるというものでした。私は、
「ベテランぞろいの中で、アマチュアのような私が同じ空気を吸うの？」
とおどろ きました。事務局 長の一言一言ゆっくり説明してくれる顔を見て、
とまりかけていた息を吹き返して、あこがれのクラスへの編入に同意しま
した。私は新しいクラスの学習者とは、今まで誰とも話をしたことがな
かったので、グループでの初学習の時はとても緊張しました。でも、新人

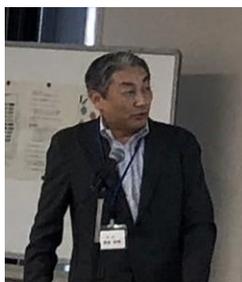
の私を、皆さんが自然体で受け入れてくれたので、とても安心しました。先生たちは、学力が低い私に手間取るのではないかとおっしゃっていましたが、現職時代は教員だった方たちなので、見事にその心配を消し去ってくれて、しかも授業時間の90分を予定通り終える力量には、さすがにプロだと思ってお礼を言っています。私は、漢字は多少読めるが筆記が出来ないケースが沢山あることを、このクラスで学んで、改めて気が付きました。

私はこれまで、「ものづくり」に没頭し、その完成品を自分の目で確認できることに喜びと誇りをもって生きてきました。でも、最近では違った形にも心を満たしてくれるものがあることがわかってきました。それは私にとって大きな成長のような気がしています。具体的な形がなくても、精神面で喜びを感じられる世界へと第一歩を踏み出すことが出来るようになったからだと思います。この気づきの目を育ててくれた会の皆様に、心からお礼を言っています。

私は夜学の帰りにコンビニに寄って、学んだ自分へのごほうびに好きな物を買って、ルンルン気分でお帰るのを楽しみにしています。これからも、たくさんのルンルン気分を味わっていきたくお思っています。



4. 生活体験発表



(5) 函館遠友塾の理科授業

一身の回りの科学を学ぶ

函館遠友塾自主夜間中学

理科担当 菅原 智明

函館遠友塾では、国語、社会、数学、理科、英語の5教科の授業を行っています。今回は理科授業について紹介します。理科は2名で担当しています。他の教科に比べて授業数は各学年で年間3時間と少ないのですが、授業では教科書の知識だけでなく実験や実習も行い、楽しみながら生徒さんに勉強してもらえるように心がけています。生徒さんからは、理科の時間数を増やして欲しいという声も多いのですが、授業資料の作成や実験準備などに時間がかかるため、今以上に授業数を増やすのは難しいといった状況です。

【目標】

- 身近な事象に興味・関心をもち、その中から法則性や規則性を見つけることができる。
- 学んだことを日常生活の中で生かすことができる。

【方針】

- さまざまな自然事象に興味関心をもってほしい。
- 基本的なことを学び、知識をさらに広げようとする意欲をもってほしい。

【これまで実施した主な授業テーマ】

- 電気の利用と発電のしくみ
- 身の回りの酸性とアルカリ性
- 身の回りの食物連鎖
- 身の回りの植物 -葉の分類-
- 暮らしの中の静電気
- 重力と浮力
- 光・色の科学
- 太陽系と宇宙 -星空-
- 花火の色の化学 -炎色反応-
- 塩と砂糖の見分け方
- 物質の三態 -低温科学-
- 熱の伝わり方-伝導、対流、放射-

【授業資料サンプル】

花火の色の化学 - 炎色反応 -

参考：日本化学会 https://kdc.csj.jp/learning/item_1081.html



1. 物質は原子・分子でできている

鉄は、鉄原子が集まったもの

アルミニウムは、アルミニウム原子が集まったもの

水は、_____と酸素とが結合したもの (H_2O)

ガラスは、ケイ素と_____が結合したもの (SiO_2)

食塩は、_____と_____とが結合したもの (NaCl)

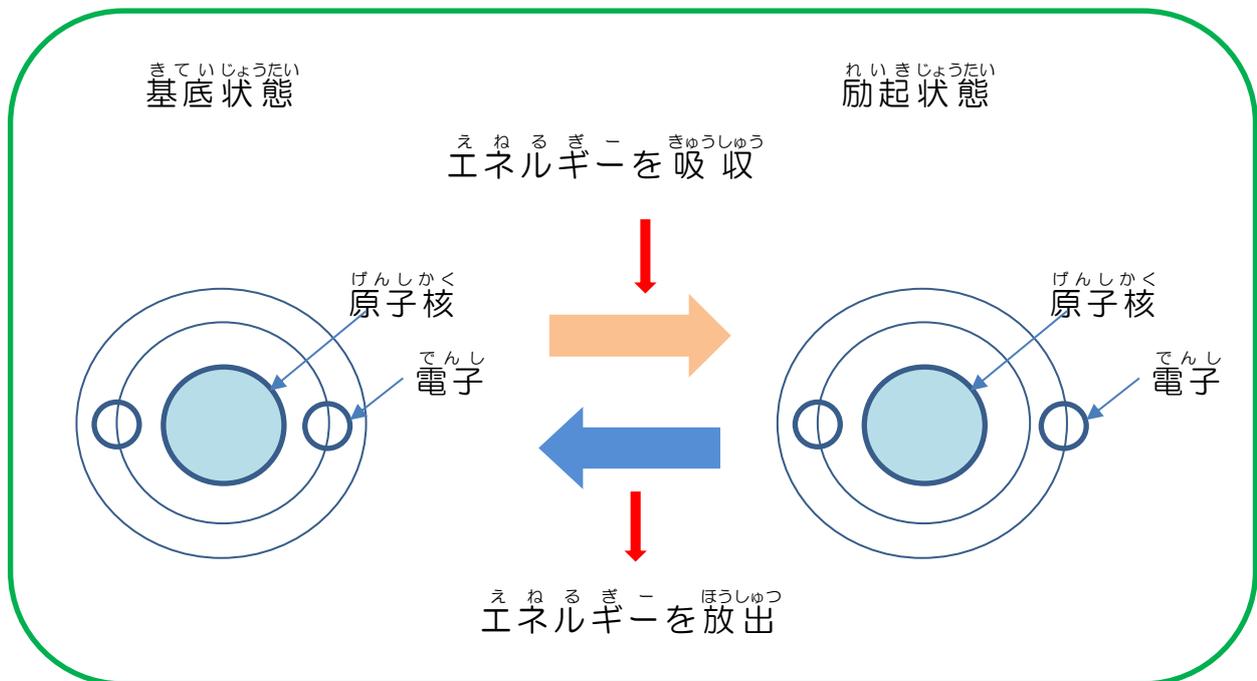
【穴埋めのヒント】① 酸素 ② ナトリウム ③ 水素 ④ 塩素

2. 原子のエネルギー状態とその変化

① 普通のエネルギー状態のことを基底状態という(最もエネルギーが低い)。

② エネルギーが高くなった状態のことを励起状態という。

③ 励起状態は不安定なので、原子はいつもの基底状態に戻ろうとする。



原子モデル

えんしょくはんのう
炎色反応のまとめ

(1) 物質に熱エネルギーを加えるとエネルギーを吸収して励起状態になる。

(2) 励起状態から自然にエネルギーを放出して基底状態に戻る。

(3) エネルギーを光エネルギーとして放出する。

元素の種類によって放出するエネルギーが異なるため光の色も違う

物質に含まれる元素を分析することに応用されている(発光分光分析)。

じっけんれい
【実験例】



(上段左) エタノールのみ：黄色 (上段右) 除湿剤のカルシウム：
オレンジ色 (下段左) 塩のナトリウム：黄色 (下段中) ミョウバンの
カリウム：紫色 (下段右) ホウ酸のホウ素：緑色

火を使う実験では、いつでも確実に消火できるように、水を入れたバケツなど準備しておき、注意深く実験を行う必要があります。また、実験は失敗することがありますので、事前に何度かテストするとよいと思います。これからも身近な科学について、生徒さんと一緒に楽しく学んでいきたいと考えております。

4. 生活体験発表（6）孫と私と遠友塾



まご わたし えんゆうじゅく
函館遠友塾 自主夜間中学

じゅくせい に いだ てるよ
塾生 新井田 照代

はこだてえんゆうじゅく に いだ てるよ
函館遠友塾の新井田照代です。

「勉強したい」と思うようになり、どこでどうやって勉強しようかと探していたら、たまたま「青いぽすと」（函館市内で配布される

フリーペーパー）で「函館遠友塾」の広告を見つけました。電話をかけて、どんな感じかを教えてもらったら、「授業中にあてられて答えるというのはありませんよ。自分のペースで学習できますよ。」という話だったので、それなら私に合っていると思い、入学することにしました。

入学してみて、先生方が親切に教えてくれ、とても楽しかったです。ただ、私が入学した年の冬から卒業するまでの2年間はコロナ全盛期で会場が使えず、卒業後にようやくコロナも収まり、遠友塾も毎週通えるようになったので、聴講生として本格的に勉強できるようになりました。

勉強を再開した私に、今度は大きな挫折が来てしまいました。もともと人前で話すことが苦手で、英語も苦手な私でしたが、英語の授業で会話練習が増えて発表する機会が多くなってしまったのです。先生方は「少しずつで大丈夫だから。」と言ってくれましたが、苦手がダブルできたことで勉強を続ける自信をなくしてしまいました。悩んだ私に、孫のゆなが「ゆなも一緒に行くよ。」と言ってくれたのです。

今私は、孫のゆなと一緒に遠友塾に通っています。苦手な英語の時間も、この子が教えてくれるので、安心して勉強できます。孫と一緒に漢字検定に挑戦して、二人で合格することも出来ました。孫や先生方にも甘えっぱなしの気がしますが、これからも頑張りたいと思います。

4. 生活体験発表 (7) 恩返し

函館遠友塾 自主夜間中学 塾生 藤山 ゆな

皆さま、こんにちは。今日は発表の機会をくださり、ありがとうございます。
ます。

私の祖母はいつも私のことを気にかけてくれ、習い事の送迎やご飯を
食べに連れていってくれたり、たくさんの新しい経験をさせてくれます。
だからこそ、その気持ちを形にしたいと思い、遠友塾に祖母と一緒に通い
始めました。

遠友塾を知ったきっかけは、祖母から英語の宿題を見てほしいと言わ
れ、教えたことがありました。そのときに、祖母が勉強をしていると聞き、
遠友塾について知りました。誰かに勉強を教えるのは難しかったので
が、教えたとき祖母に「ありがとう」と言われ、これで恩返しできるの
ではないかと思いました。

遠友塾に通ってみると、普段は勉強している祖母の姿を見ることがな
かったので、とても新鮮でした。そして、しっかり集中してノートをとっ
ている姿を見て、すごいなとも思いました。さらに今までよりも祖母と話
す時間が多くなりました。クリスマス会などの行事では、普段経験できな
いようなことを祖母と一緒に体験でき、とてもうれしかったです。

これからも祖母と一緒に遠友塾で学びながら、少しずつ成長してい
きたいです。そして、祖母に「ありがとう」と言ってもらえるように、これ
からもがんばっていきたいです。これまで祖母から受け取った優しさや支
えを、今度は私が返していけるように、一つひとつの学びを大切にしてい
きます。遠友塾で得た知識や経験を活かし、祖母が困っているときにはす
ぐに手を差し伸べられる人になりたいです。そして、いつか祖母が私にし
てくれたように、私も誰かの力になれる存在になりたいと思います。

4. 生活体験発表



(8) 星友館中が届けたい思い

札幌市立星友館中学校

教頭 鎌田 哲至

みな さっぽろしりつせいゆうかんちゅうがっこう きょうとう つと
皆さま、こんにちは。札幌市立星友館中学校の教頭を務めております、
かまだ もう さくねんど えん せいゆうかんちゅうがっこう ちやくにん
鎌田と申します。昨年度より、ご縁がありまして、星友館中学校に着任
いたしました。

わたし ねんかん しょうがっこう きょういん きょうとう
私はこれまで、28年間にわたり小学校で教員、そして教頭として
きんむ
勤務してまいりました。

じぶん つと ないしん ふあん
「自分に務まるのだろうか」と、内心、不安もありましたので、まずは
じゅぎょう けんがく おどろ
授業を見学させていただくことにしました。そこでまず驚いたのは、
あ まえ せいと みな おとな
当たり前のことかもしれませんが、生徒の皆さんが“大人”であったと
いうことです。しょうがくせい なが す わたし ちゅうがっこう
小学生と長く過ごしてきた私にとっては、「中学校の
せいと さい かんかく し いみ じゅぎょう
生徒＝12～15歳」という感覚が染みついていました。その意味では、授業
けんがく おも せすじ の おも
を見学させていただいたときは、思わず背筋が伸びる思いでした。

きょうしつ み こうけい おどろ いじょう かんどう おほ
ただ、その教室で見た光景は、驚き以上に感動を覚えるものでした。
せいと みな ほんとう おだ しんけん まな
生徒の皆さんが、本当に穏やかに、そして真剣に学んでおられるのです。
せいと せんせい きょうしつぜんたい しず ねつい つつ
生徒さんたちと先生が、教室全体が静かな熱意に包まれている—そんな
くうき かん
な空気を感じました。

おとな あたら かんきょう と こ だれ ゆうき い
大人になってから、新しい環境に飛び込むのは誰しも勇気が要るもの
おも
だと思えます。にもかかわらず、生徒の皆さんは学ぶことに喜びを見いだ
な かま まえ すす すがた あたま さ おも
し、仲間とともに前に進んでいる姿には、頭が下がる思いです。

そんな日々の中、本校の先生方から「この学校を必要としている人に、
星友館のことが届いていないのでは」「この学校を必要としている人に、
もっと情報を届けたい。」との声があがりました。

先生方と検討を重ね、まずは、市内の中学校に連絡を取り、情報を
届ける取り組みをはじめることになりました。

誰かがやるのではなく、先生方みんなで取り組むのです。

今までも本校は、学校のことを知ってもらうよう、関係機関へ入学に
関する案内やPRを行ってきました。

「この学校を必要としている人に、もっと情報を届けたい。」

私は先生方のこの声を、この動きを、嬉しくそして心強く感じました。

現在、星友館中学校には、戦後の混乱期に中学校へ通うことができな
かった方、さまざまな事情で十分に学べなかった方など、99名が在籍し
ています。年齢層も、背景も実に様々ですが、皆さんに共通しているのは

「学びたい」という強い思いです。

学びに年齢制限は、ありません。

そして、その気持ちを支える環境を整えるのが、私たち教員の役割だ
と考えております。

これからも、生徒の皆さんが安心して学び続けられる場をつくること、
そして、本校の存在を一人でも多くの方に知っていただくことに、誠心
誠意取り組んでまいります。

本日は、お時間をいただき、誠にありがとうございました。



4. 生活体験発表

(9) 道しるべ



さっぽろしりつせいゆうかんちゅうがっこう
札幌市立星友館中学校

せいと ささき たつろう
生徒 佐々木 達朗

そつぎょう ちゅうがっこう い おいめ かん
卒業さえできれば、むかし中学校に行かなかったことを負い目に感じず
いきられるかもしれない。僕の入学理由は、ひとまずそれだけでした。

だい ころ べんきょう うんどう まわ ペース じぶん
10代の頃、勉強も運動も周りのペースについていけず、そんな自分が
は 恥ずかしくて逃げるように不登校になりました。それ以降、学校や勉強に
にがていしき も とお
苦手意識を持ち、遠ざけてきました。

ほん よ えいが み ちしき ぶんか たの
本を読んだり、映画を見たりすることで、知識を深めることの楽しさは
し 知りましたが、中学校すらまともに行かなかったという負い目から、何を
しても自信が持てず、夢や、人生の目標は見つかりませんでした。

せいゆうかんちゅうがく にゅうがく ねんはん た
星友館中学に入学して、2年半が経ちました。

きんちょう はじ がっこうせいかつ いま そうぞういじょう じゅうじつ
緊張しながら始まった学校生活は、今、想像以上に充実しています。

おもしろ やま なか ひと あ
面白いことは山ほどありますが、その中の一つを挙げるなら、やはり
せんせい そんざい
先生たちの存在です。

まいにち かつどう なが きょうし しょくぎょう ほんとう まね
毎日その活動ぶりを眺めて、教師という職業は本当にすごいなあ、真似
できないなあと感じます。あの先生の物の見方や言葉の使い方が素敵だ。
この先生みたいな生き方ができたら楽しいだろうなあ。僕より年下とは
おも おとな せんせい
思えない大人びた先生もいる。こんなにおっちょこちょいで抜けていると
ころがある先生でも、それはそれで、なんだか人間味があって安心する。

がっこう べんきょう うんどう よ なか おとな そんざい
学校は勉強や運動だけでなく、世の中にはこんな大人も存在するんだ、
ということをもまな ばしよ
学べる場所でした。

もし、10代の多感な時期に、こんな人たちに出会っていたなら僕の人生はどんなふう^{ちが}に違っていただろう？そんなことを思ったりもします。

卒業さえできれば、と入学したのに、今では卒業するのが寂しい、この日々^{ひび}がずっと続け^{つづ}ば良いのに、と感じるようになりました。

数年以内に僕はこの場所を巣立^{すだ}っていきます。

僕にとって中学校は、もう負い目を感じる場所ではなく、たくさんのいい思い出^{おもいで}が詰まった場所^{ばしょ}に変わりつつあります。

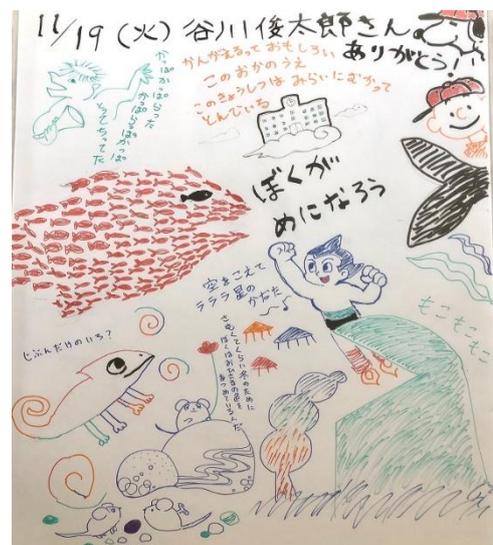
人生は、このようにやり直したり、塗り替えたりしていくこともできるのか。とても貴重な経験^{けいけん}をしています。

この先のことは、まだ十分には見通せていません。夢や目標も、そう簡単には見つけられない。

それでも、星友館で交流した日々^{ひび}を思い出せば、何かに迷ったり、立ち止まったりしたとき、ひとつの道^{みち}しるべになってくれる、そんな気がしています。

学び直しを手厚くサポートしてくれる、多くの方々^{かたがた}に感謝しながら、これからも毎日^{まいにち}を大事^{だいじ}に過ごしていきたいと思っています。

<佐々木さん達が描いたイラスト 教室前の掲示板>



5. 地域の活動報告

さっぽろしりつせいゆうかんちゅうがっこう (1) 札幌市立星友館中学校

「学ぶ＝生きる」生徒さんの声に耳を傾ける

きょうとう かまだ のりよし
教頭 鎌田 哲至

せいゆうかんちゅうがっこう ことし かいこう ねんめ むか
星友館中学校は、今年で開校4年目を迎えました。

かいこう じ せいとすう めい ねんめ めい ねんめ めい
開校時の生徒数は66名、2年目は106名、3年目は114名、そして
ねんめ ことし めい せいと ざいせき ぜんこくてき み
4年目となる今年は、99名の生徒が在籍しております。全国的に見ても、
せいとすう おお や かんちゅうがく ほっかいどう さまざま じじょう
生徒数の多い夜間中学となっており、北海道において、様々な事情から
ぎ む きょういく う かた まな ば もと
義務教育を受けられなかった方の学びの場が、いかに求められているかを
じっかん
実感しています。

がっこう かいこう ほっかいどう や かんちゅうがく かい
このような学校を開校できたのは、「北海道に夜間中学をつくる会」
みな おお かんけいしゃ みな じんりよく
の皆さまをはじめ、多くの関係者の皆さまのご尽力のおかげです。この
ば か こころ れいもう あ
場をお借りして、あらためて心よりお礼申し上げます。

げんざい きょうしょくいんたいせい こうちよう きょうとう きょうゆ めい しゅかんきょうゆ
現在の教職員体制は、校長・教頭をはじめ、教諭12名（うち主幹教諭
ふく ようごきょうゆ じむしょくいん こうむじょしゅ ふくしほじょいん すくーる かうん
を含む）、養護教諭、事務職員、校務助手、福祉補助員、スクールカウ
せらー、さらにしひ どうひ じかん 講師が合わせて11名、という体制で生徒
さんの学びを支えています。また、がくしゅう さ ほーたー げんざい めい かた
登録されており、札幌遠友塾のスタッフの皆さまにもご協力をお願い
とうろく さっぽろえんゆうじゅく す た っ ぷ みな きょうりよく
しています。

ほんこう がっこうもくひょう まな は い
さて、本校の学校目標は、「学ぶ＝生きる」。

せいと ひとり じぶん ペーす あんしん まな つづ
生徒さん一人ひとりが自分のペースで、安心して学び続けることができ
るよう、ひび きょういくかつどう おこな
るよう、日々の教育活動を行っています。

げんざい、7つのがくしゅうコースをもうけています。なかでもチャレンジコースでは、こくご・すうがく・えいごの3きょうか科で、さらに基本のEコースと発展のHコースに分かれ、レベルにおうじた授業をじっし実施しています。このとく組みは、さくねんどのがっこうえいきょうぎかいで、せいとかんじのみなさんのいけんをいかしてはじめたものです。

がっこうえいきょうぎかいは、きょうしよくいん、がいぶいいん、そしてせいとかんじさんか、ねん3かい開催されます。「じゅくぎ」とよばれるいけんこうかんの場では、それぞれのたちば立場から、「よりよいがっこうとは何か」をしんけんかたあを真剣に語り合っています。

さらに、せいとひとりひとりからはなしをきくこべつそうだんかいねんかんかい実施しています。せいとさんのもくひょうをいっしょにかんがこまに困っていることやようぼうにみみかたむを傾けたりしながら、ひとりひとりのまなをささえています。

せいとさんのはなしをきく、いっしょにかんが、よりよいほうぼうを見つけていく。このことをほんこうではこんごたいせつに大切にしていけます。

こんねんどのこのほんとしは、せいとみなさんのみのじかんとなるよう、きょうしよくいんいちどうちからをつくしてまいります。

こんごとも、みなさまのあたたかいごしえんしどうたまわを賜りますよう、よろしくねがもうあをお願い申し上げます。



5. 地域の活動報告

(2) 函館遠友塾自主夜間中学

健康で一緒に学ぶ

代表 菅原 智明

函館遠友塾は今年度で17年目となりました。現在、毎週金曜日に活動しています。

最初に、昨年度（令和6年度）の活動について紹介いたします。

令和6年3月に令和5年度卒業式、4月に令和6年度入学式を行いました。卒業生は4名、新入生は5名、全塾生数は42名（1学年21名、2学年21名）で、2学年体制としてスタートしました。

スタッフの人数から、当面は2年制ですが、将来的には3年制を目指しています。5月に総会を行い、運営計画などを検討しました。

また、様々な理由で通えなくなった生徒さんのため、2カ月に1回くらいのペースで、希望者には課題プリントを送付しています。

7月の社会見学では、市立函館博物館に行きました。生徒さん26名が参加しました。当日は、企画展「北東アジアのシルクロードー北方交易と蝦夷錦ー」について、学芸員さんからご説明いただき見学を行いました。生徒さんからは質問が多くあり、社会見学を通じて歴史や文化を深く学習することができました。

11月に希望者を募り日本漢字能力検定を受検し、15名が合格となりました。毎日の学習が実を結んだのだと思います。生徒さんの努力に敬服しています。今年度も漢字検定に挑戦する予定です。

秋の遠足では、大沼にバスで行き、温泉で疲れを癒やし、昼食とクイズで生徒さんとスタッフが楽しく交流できました。

令和6年度の卒業生は2名で、在校生と一緒に卒業をお祝いしました。

今年度の活動についても紹介します。

令和7年度は、新入生10名で全塾生数は42名（1学年20名、2学年22名）でスタートしました。6月の社会見学では、函館市中央図書館に行きました。生徒さん、スタッフ合わせて36名が参加しました。当日は、中央図書館の概要と歴史についてご説明いただいた後、図書館クイズを解くため館内見学を行いました。また、見学後、座ってできる簡単な体操をインストラクターと一緒にいき、身体の調子を整える運動についても体験しました。

今年も10月ごろに希望者を募って漢字検定に挑戦する予定で、生徒さんと一緒に学んでいきたいと思っております。これからも夜間中学に関わる皆様と交流を続け、生徒さんの様々な学びの要望に答え、将来、函館においても公立夜間中学の実現に向けて進んでいけるとよいと思っております。



5. 地域の活動報告

(3) 釧路自主夜間中学「くるかい」

代表 賀根村 伸子

皆さま こんにちは。釧路の賀根村です。

昨年は、釧路から生活体験発表者が出ず、大変残念な事でしたが、今年はお声掛けして間もなく、名乗り出てくれたのが学習者さん佐藤法子さんです。こうして遠友塾さんの35周年という大切な節目の年でもあり、一緒に参加出来ました事、とても嬉しく思っております。

では、「くるかい」の24年度の活動報告に入ります。

24年4月9日、16年目の「くるかい」がスタートしました。

登録学習者17名、スタッフ14名でしたが、途中、新たに支援者さん1名入会くださいました。

昨年度、といっても今年に入ってからの大雪の日、あまりの積雪で休講しましたが、あとは全て予定通り行う事が出来ました。

また、南アフリカから来られ、長く日本にはおられるものの、日本語はほとんど話せなかったKさんも、いつもバスに乗って「くるかい」に到着。担当の支援者Yさんも仕事帰りで参加してくれているので、皆さんとちょっと違う時間帯（6時開始）で学習しています。その緩やかさがあって、「くるかい」だなあと感じます。今は簡単な言葉は理解できるようになってきました。

普段の学習会、1部に来られている20代の女性Iさんは、高卒認定試験を目指して勉強されて来ました。コツコツ努力型で、担当スタッフが来れない時も一人自習で頑張りました。

国語グループは女性スタッフ佐藤さんが毎回プリントを用意され、短編の小説や、歴史書の中から、漢字の意味や使い方、時代を読み取ったり、人物について理解を深めたり、文章を理解する事で皆さん探究心を更に膨らませていました。支援の佐藤さんが、ご自身の都合で、長年関わってく

れた「くるかい」を12月で退会されました。それはとても残念な事でした。佐藤さんの代わりに、これまで個別対応でKさんに関わって下さったOさんと、もう一人Nさんが交代で対応してくれました。という訳で、Oさんが長年ついて下さっていたKさんには、何かとお忙しい事務局長に担当して頂きました。

国語のマンツーマンの学習のところでは、新しい国語の学習者さんらに、新しく支援に加わった方々が付いてくれましたが、相性も良い感じで学んでいます。そのお一人は、病気による記憶障害を患い、学力を取り戻したいと熱心に通われています。

また、韓国から来られて日本の生活は長いTさんですが、英語2年目でとても頑張っておられます。学習の無い日でも毎朝録音したテープを聴きながら、書き取りをしたりと熱心です。

お一人で書き取り（卓上四季）をされていたSさんと、4月から、国語グループから離れてYさんが一緒に学ばれました。お二人の気もぴったりで、内容をよく捉えつつ一生懸命書いておられましたし、いつも楽しい会話をしているので、私もよくお仲間に入れて頂きました。

2部は、昨年高校に進学した中国籍のジャハン君。学校帰り頑張って「くるかい」に来ています。また、そのお母さんも時折参加しています。

5月には、教育委員会からの依頼で、オーストラリアから帰国した一家の小学生と中学生を迎え入れました。日本語が話せないので、担任の先生も参加して下さった事は、ギリギリのスタッフしかいない中では、おおいに助かりました。

10月には、大運動会を行いました。今年は大學生スタッフがおらず、佐藤事務局長にお任せし、種目も色々考えて頂くほかありませんでしたが、かかとを使うゲームなど、予想外のチャレンジの種目が多く、皆、ドキドキしながらも楽しく挑んでいました。今年も玉入れで締め、大逆転もあり、楽しい交流ができました。

11月に行なった特別授業。コロナ禍で何年も行なわなかったのですが、再開しよう決めました。読書や朗読の活動を長くされている、釧路高等専門学校の名誉教授小田島本有先生にご協力頂き、「私たちにとっての言葉」と題してお話頂きました。普段、言葉は、私たちが会話やテレビなどで耳にし、また、読む事、自ら話す事でも使われますが、言葉の役割については、それ程意識せず過ごしているのではないのでしょうか。そこに今回、先生は意識を向けさせてくださいました。生きていく限り、想う事、話す事はやめられません。言葉をどう遣うかで物事の先が変わってくるように思います。

文章を正しく理解する、深く理解する事。相手の声のトーンでも受け止め方は変わってくる事を、事例をあげてお話し下さり、感情を交えずに聴くと誤解も減るのかなあとも感じました。最後に昨年亡くなられた谷川俊太郎さんの、いのち、という詩を朗読してくださいました。とても心が豊かに感じられた時間でした。

12月には、恒例のクリスマス&忘年会。新しくスタッフに加わって下さったIさんも進行役に入り盛り上げ役。工作を楽しむ時間では折り紙でサンタクロースとトナカイさんに挑戦。私のサンタの指導は、スタッフさんの補助もあり、うまく出来たのですが、トナカイさんは途中から挫折してしまいました。

気を取り直して次のプログラムへ。佐藤事務局長の柔道仲間のMさんがウクレレの弾き語りをして下さり、素敵な優しい音色で、竹内まりやさんの「いのちのうた」などを披露してくださいさり、しっとり聴き入りました。そのあと私も名誉挽回で、ハーブで「いつくしみ深き」を演奏させて頂き、皆さんにも歌っていただきました。

最後は恒例のビンゴゲームの時間で、また皆さんの笑顔がいっぱいになり、副代表のあいさつで終了。

3月には修了式とお別れ会。今年は大学生の送りはなく、中学校を卒業

する〇さん一人の送別会でした。皆さんゆったりと会話を楽しみ、そして私の自作の箏の演奏。

以上、24年度の学習会の様子でした。

その他の活動報告ですが、6月に公立大学にて、学生さん向けに「くるかい」の歴史と活動の様子などの講義を依頼され、佐藤事務局長にお願いしました。

11月には、生涯学習フェスティバルに参加。ドキュメンタリー映画「こんばんはⅡ」を上映しました。

同月に、道教委主催の、オンライン授業も行われ、「くるかい」のスタッフと学習者数名が参加しました。遠隔でしたが、2回目の企画でしたから、初回より実際の授業の感じに近づいたように思いました。

スタッフ不足をどう補うのか、いつも事務局長を悩ませておりますが、去年は釧路の教育大学の先生にもお願いし、校内でポスターを貼って頂くなど努力しましたが、今の学生さんは授業が遅めに始まったり、バイトにも忙しいとの事で、全く連絡が入りませんでした。

以上、「くるかい」の活動の様子でした。

来春にはよいよ「学びの多様化学学校」が開校されます。名称はまだ発表されていません。不登校対策を進める一方で、いじめや不登校児童生徒を減らすための議論。不登校の割合の多い釧路の要因は何処にあるのか。基本的な教育の有り方の議論を継続的に活発化させることも大切かと思えます。

どうぞ、教育関係者の皆様、引き続きよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、本日も交流会参加に際しまして、札幌遠友塾様並びに北海道に夜間中学をつくる会様に、今年も大変ご協力頂きました事、御礼申し上げます。有難うございました。

5. 地域の活動報告

(4) 札幌遠友塾自主夜間中学

事務局 長 中島 圭子

2024年度も、ほぼ向陵中学校を使わせて頂くことができ、はじまりの会をすることも定着しました。

しかしながら、12月の最終週に行っていたクラス発表会は、やはり全クラスが一つの部屋に集まるのはまだ不安があるということでクラスごとの懇親会となりました。

ゲームをしたり、ふだん学べないようなことを知ったり、各クラスで楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

3月19日の卒業式では、一人一人が学ぶことの喜びを精一杯発表しました。

2025年度は、4月9日に入学式を行いました。

新入学生7名、再履修生13名でスタートしました。

その後じっくりクラスにも入学希望があり、7月1学期が終わるころにやっと落ち着いてきました。

今年度は、公認心理師の方がスタッフとなり、スクールカウンセラー事業を実施しております。「お話を聞いてもらい、心が軽くなった」という声が聞かれます。

現在は、受講生59名、スタッフ67名で活動しています。

最近では、欠席する受講生が少なく、欠席者が一人もいないということもありました。

皆さんが授業日を楽しみにしていることの現れだとはつくづく感じます。

7月6日（日）に北海道大学植物園にて遠足を行いました。

猛暑日で実行するかどうか検討しましたが、去年は鹿が園内に入って臨時休園で実施できなかったため、細心の配慮をして実施しました。

園内は木陰が多く、行って良かったという声を聞きホッとしました。

それにしても、今年の猛暑。高齢の受講生さんたちが体調を崩さないか本当に心配しました。

学ぶことが生きる力になる場としての重要性は充分考えていますが、気候変動や様々な条件の変化（例えばバスの時間変更に依る授業短縮など）に対応することの困難さを感じます。

これからも、「誰一人取り残さない」取り組みを続けていけるよう、頑張っています。



にゅうがくしき
入学式



えんそく
遠足

5. 地域の活動報告

(5) 旭川に公立夜間中学をつくる会

だいひょう なかしま ひろゆき
代表 中島 啓幸

「旭川に公立夜間中学をつくる会」は今年も文化活動を通して夜間中学の必要性を訴え続けています。

本年、1月15日には、私が制作に関わらせていただいたアイヌ民族の知里幸恵さんのご生涯をモデルに描かれた映画「カムイのうた」上映会を開催し、いわれない差別、いじめにより、安心して学校に通うことができなかったアイヌ民族の痛みに参加者として想いをはせ、夜間中学の必要性を語り合いました。

2月13日には、全国を震撼させた「旭川いじめ凍死事件」発生から4年にあたり、少女の痛みに関心をはせ、「私が受けた差別といじめ」をテーマにヤクザの子として生まれ、いわれなき差別といじめを受け作家になられた今も偏見と闘かわれている天藤湘子さんにお話しして頂き、涙し、夜間中学のほんとうのぬくもり、誰ひとり差別しない、いじめのない学校の必要性を語り合うことができました。

3月23日には、「旭川いじめ凍死事件」真相究明シンポジウムIN札幌（旭川市民 & 市議会有志の会主催）のシンポジストの一人として招かれ、少女の孤独死と夜間中学の必要性を熱く語り、大きな反響がありました。

6月21日には同シンポジウムが旭川でも開催され、司会者として参加し「夜間中学があれば少女は死なずにすんだ」と熱く持論を述べて会が始まりました。

この後、9月18日「知里幸恵が歩いた道のり」、11月9日「金成マツの

「ユーカラ」について、フィールドワーク、講演を開催し、アイヌ民族の迫害の歴史の中での夜間中学の必要性を訴えていきます。

これからも小さくコツコツと、あらゆる側面から夜間中学の必要性、ほんとうのぬくもりの教育、差別やいじめが一切起こらない学校とは？を訴え続けてゆきますので、今後とも引き続き熱きご助言、お支えを何卒よろしくお願いいたします。

知里幸恵 生誕122年

金成マツ 生誕150年

知里幸恵が歩いた道のり

民族の誇りを胸にふたりが紡いだ壮大な英雄叙事詩を未来に繋ぐ

第一部
知里幸恵フィールドワーク

9/18(木) 14~16時
(知里幸恵103回目のご命日)

参加無料

幸恵さんの下校時の通学路を歩く
14時から15時40分までおよそ6キロを歩きます
(雨天決行)

- 14時 旭川区立職業学校跡地集合
現・北都中学校正面玄関跡地
旭川市7条通16丁目
- 旭橋を渡る
- 15時40分 知里幸恵居住跡地到着
現・北門中学校銀のしずく文学碑前／旭川市錦町15丁目

到着後、北門中学校内「知里幸恵資料室」を見学後、解散

第二部
金成マツ生誕150年記念講演

11/9(日) 13~15時
(11/10は金成マツの150回目のお誕生日前日の開催)

会場 まちなかぶんか小屋
旭川市7条通7丁目32 ☎0166-23-2801

参加費千円
(事前申込不要、直接会場へ)

講演『金成マツのユーカラを追う』
お話 アイヌ語伝承者 大須賀るえ子さん

白老町無形民俗文化財「伝統文化継承者」/白老アイヌ語教室主宰
永年、金成マツ筆録、ウエベケレ(昔話)解説・翻訳・研究書を刊行

主催 旭川に公立夜間中学をつくる会 (代表 中島啓幸 ☎09062190091 ✉pisikan115@gmail.com)
後援 旭川市教育委員会

5. 地域の活動報告

(6) 北海道に夜間中学をつくる会

事務局 長 鹿沼 秀夫

「北海道に夜間中学をつくる会」(以下「つくる会」)は、直接的には2007年札幌遠友塾(以下「遠友塾」)の教室場所を確保するために設立し、さらに義務教育を実質的に受けることができなかつた人たちの学ぶ権利を保障するため、公立夜間中学の設置を中心的な課題として取り組んできました。2022年に札幌市立星友館中学(以下「星友館中学」)の開校をみて、次の2点の課題が明確になりました。

①「自主」と「公立」の共存・連携を深め強めていくこと。

札幌市教育委員会とは、星友館中学開設にむけて信頼関係が築かれてきました。星友館中学開設後もこの信頼関係は継続しています。

「自主」である遠友塾と「公立」の星友館中学とは日常的な交流を通して連携は深まっています。

星友館中学には、現在遠友塾出身の生徒は14名が学んでいます(星友館中学在籍は97名)。また遠友塾スタッフからは5名が学習サポーターとして、1名が非常勤講師として参加しています。

さらに、学校運営協議会の構成委員として、遠友塾代表、「つくる会」共同代表、学習サポーター代表が参加しています。また生徒代表幹事5名のうち2名が遠友塾の出身です。星友館中学との連携はこれらの関係を土台としています。

特に、お知らせしたいことは、星友館中学への入学を目指して(その準備期間として)遠友塾に入学する場合や、逆に星友館中学に応募したが

諸条件をかんがみて遠友塾を勧められる場合があるということです。

また、星友館中学を卒業した後に、遠友塾で学びを継続するという方もいます。このような相互交流は、互いの信頼関係があってこそ可能であるといえます。

② 広域な北海道において、新たな公立夜間中学の開設を目指すこと。

星友館中学の開設後、北海道教育委員会（以下「道教委」）は新たな取り組みに着手しています。一つはオンラインのテスト授業を星友館中学の協力を得て 2022年以降、年に1回のペースで実施していることです（札幌遠友塾・釧路「くるかい」も参加協力）。

もう一つは、道立生涯学習推進センター主催の義務教育学習の取り組みを札幌圏以外の地域で進めていることです。これらの取り組みは、道立夜間中学の設置を視野にいたした実験的な取り組みであると理解し、札幌遠友塾および「つくる会」は積極的に協力しています。

2017年に道教委が設置した「夜間中学等に関する協議会」、その後2022年に設置された「ワーキンググループ会議」は、「つくる会」共同代表・遠友塾代表が構成委員として参加しています。これらの会議では星友館中学の他にも夜間中学のニーズがあることは共通理解にはなっていますが、新たな夜間中学設置については、具体的な方策はまだ提起されていないのが現状です。

私たちの切なる要望は以下の2点です。

- ① 道教委には遠隔教育を担う道立の夜間中学の設置を要請します。
- ② 自主夜間中学のある函館市・旭川市・釧路市をはじめ主要都市においても、公立夜間中学の設置を要請します。

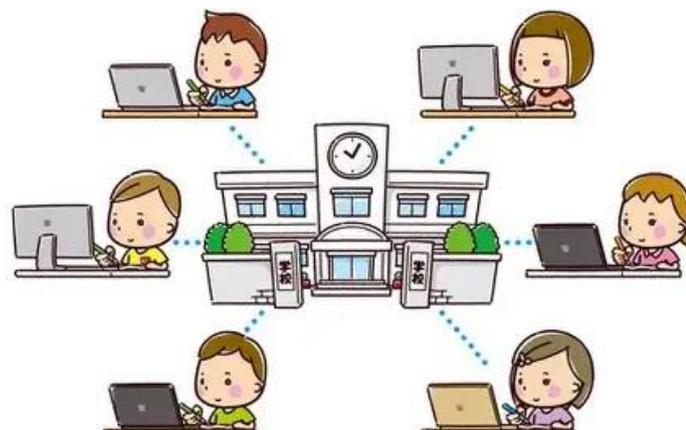
広域な北海道において、遠隔教育を担う夜間中学の設置は道教委が主体的に担っていくべきものと考えています。

また、自主夜間中学の蓄積がある地域では、札幌遠友塾が星友館中学開設の際に果たした経験が生かされるはずで、道教委と各市教育局（以下「市教委」）が連携して、地域に根差した夜間中学の設置を強く望んでいます。

7月4日には道教委との話し合いを持ち、私たちの立場を「提言」としてまとめました。8月28日の「夜間中学等に関する協議会」に「提言」を提出し、さらに各議会関係者・各市教育局とも話し合いを進め、新たな夜間中学設置の実現に向けた具体的な一歩を踏み出したいと思っております。

※オンライン授業---インターネットにつないだパソコンの画面を通して
学習する授業

※遠隔教育---はなれた場所から教育を行うシステム。授業者と学習者が互いにやりとりができる双方向のオンライン授業が望まれています。



○ 札幌遠友塾自主夜間中学「35年の集い」

(1) 開会



札幌遠友塾自主夜間中学

前代表 遠藤 知恵子

先程、第1部では遠友塾の歴史をたどりながら、この10年夜間中学が函館や釧路を巻き込みながら整備されていった過程、そしてこれからの課題を詳しくお話しいただきました。そして学ぶ側の方々、それをサポートしているスタッフの側からは実際の活動を通して得られる学ぶ喜びの実感をお話しいただきました。

いつもながらそれらの体験はとりわけ心を打つものでした。

ところで、10年前、いったいどのような活動をしていたのだろうか、私も2015年度1年間の会議録や資料綴りを取り出して振り返ってみました。

当然25周年交流会の企画はもちろん、日常活動や例年行っていた遠足やクラス発表忘年会等楽しい行事に関するものもありましたが、いくつか特徴的な話題がありました。

一つには丁度多様な方々が学びを求めてこられるようになってきた時期でした。受講生さんの学びを支えるには「教科の内容」だけではなく、受講生さんたちを理解するのにより広い分野の研修が必要であることや、何よりも対応するスタッフ同士の情報の共有が大切として、それらが盛んに議論されていました。状況に対応するための研修会の企画や全体会議の持ち方、「前向きに励ましあえる」ミーティングの方法はどうあったらよ

いか等々、議論が沸騰し、月一度の全体会議は9時過ぎるのが当たり前と
いった状況だったのを思い出します。

二つ目は外との関わりです。外に向けては「こんばんは遠友塾です」の
発信に加え、ホームページの内容検討、向陵中学校の学校祭での展示参加
やPTA研修への協力がありました。若いスタッフからはフェイスブッ
クを立ち上げてはとの提案までありました。

もう一つこの年には、道教委（教育環境グループ）の夜間中学に対する
ニーズを把握するためのアンケート調査が実施されましたが、「公立夜間
中学校の設置に向けた課題の調査研究」の一環ということで遠友塾も
協力し、何度も打ち合わせをしていた記録がありました。

このように先程の工藤代表の話に出てきた条件整備につながる議論を
盛んにしていたこと、その先に現在があることを実感いたしました。

遠友塾は、35年前に学びを求める人々に手を差し伸べるところから始
まったと聞きます。それが、先程の話のように、様々な課題にぶつかり、
乗り越える取り組みを日々重ねることにより条件整備が進み、今や公立の
夜間中学まで実現しました。

最も強く思ったのは、心ある活動というのはこのように始まり、形を
成し、きちっとした制度までたどり着いていくものなのだということです。
そしてそれらの具体的活動からさらなる未来の課題が見えてきています。

今日はこの集いに夜間中学に関心をお持ちの様々な立場の方にお集ま
りいただいています。より広い場で受講生さんやスタッフを交えて交流す
ることは、とても貴重な場であると思います。是非忌憚のないご意見を
交流しあって、またそれぞれの場で明日からの活動の糧にしていければ
と思います。よろしくお願いいたします。

(2) 感謝状贈呈

さっぽろしりつこうりょうちゅうがっこう
札幌市立向陵中学校

ふじふいるむびじねすいのべーしょんじャぱんかぶしきがいしゃ
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

さっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく 工藤朱美、工藤慶一、横山晴美、宮田友子
札幌遠友塾自主夜間中学

(3) 受賞者代表あいさつ



さっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく
札幌遠友塾自主夜間中学

すたっふ 工藤 朱美
スタッフ

(4) 乾杯

はこだてえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく だいひょう すがわら ともあき
函館遠友塾自主夜間中学 代表 菅原 智明



(5) スピーチ

じゅこうせい せいと さんじょかいいん どうそうかいかいいん すたっふ
受講生、生徒、賛助会員、同窓会会員、スタッフ

こくりつこくごけんきゅうじょ のやまひろしじゅんきょうじゅ
国立国語研究所 野山広准教授

ほっかいどうぎかい はたけやま きいん きぼじゅんぎいん いしかわ こぎいん
北海道議会 畠山みのり議員、木葉淳議員、石川さわ子議員

さっぽろしぎかい まえかわたかしぎいん
札幌市議会 前川隆史議員

(6) 閉会

くしろじしゅやかんちゅうがく だいひょう がねむら のぶこ
釧路自主夜間中学「くるかい」 代表 賀根村 伸子

○ 札幌遠友塾自主夜間中学「35年記念展示」

(1) 「北海道立道民活動センター(かでの2・7)

情報交流広場(まなびの広場)での展示

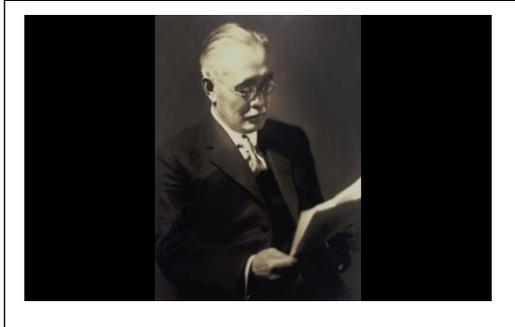
8月2日から29日(休館日を除く)まで、「かでの2・7」9階の「まなびの広場」で札幌遠友塾自主夜間中学の創立35年を記念した展示を開催しました。「パネル写真」と「遠友塾のあゆみ」や「授業の時程、授業内容」をパネルにしたもの、これまで作成された「記念文集」「卒業文集」、遠友塾が受賞してきた以下の「表彰物」を展示しました。

- ・ 2007年度札幌弁護士会人権賞(2007年10月)
- ・ 社会貢献支援財団「社会貢献者表彰」(2013年11月)
- ・ 第73回北海道新聞文化賞社会部門(2019年11月)
- ・ STVラジオ『私たちのヒーローFIGHTERS』(2021年10月)
- ・ UHBテレビ『いい人いい街#まいにち金メダル』

星友館中学の山田校長先生から遠友塾の工藤慶一さんへ(2025年8月)

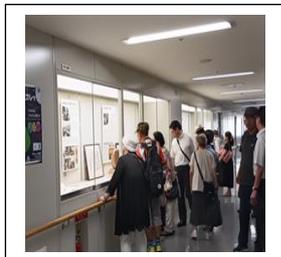
展示初日の8月2日は、教育者としての新渡戸稲造の精神を受け継いでいる札幌遠友塾が取り上げられているドキュメンタリー映画『新渡戸

『ゆめの夢』の上映会が開催され、終了後、多くの参加者が展示会場に足を運んでいました。
 映画「新渡戸の夢」©2024年新渡戸の夢製作委員会



(2) 「札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）憩いの空間」での展示

9月5日、6日の2日間、9:00から17:00まで、「チ・カ・ホ憩いの空間」で、スタッフのべ33名（5日18名、6日15名）が参加して、札幌遠友塾の活動を紹介しました。「遠友塾のあゆみ」や「授業のしるし、授業内容」をパネルにしたものを壁面に掲示し、スタッフが「北海道夜間中学交流会記録集2年分各30部」や「受講生募集チラシ」を希望者に配布して、活動内容や受講生・スタッフ募集について、説明しました。創立以来、初めての試みでしたが、今回の反省を次の広報活動に生かしていきたいと思えます。



かでの2・7「まなびのひろば」

チ・カ・ホ「憩いの空間」

さんこうしりょう
(参考資料)

札幌遠友塾自主夜間中学35周年 年表		
西暦	月	場 所
		「札幌遠友塾自主夜間中学のあゆみ」と条件整備の軌跡 (㊦)
1987	9	遠友塾読書会開始 (牧野金太郎世話人) 「君たちはどういきるか」他
1989	10	第1回設立準備会開催 (15名参加)
1990	4	結成式・開講式 (104名参加)代表:後藤鎮義, 事務局長:馬場克明, 事務局員:工藤慶一
1993	3	第1回卒業式
	4	卒業記念パーティー・同窓会設立
1995	7	”満5周年遠友のつどい” (92名参加)
1996	8	(代表交代:工藤 慶一)
1999	7	”開講10周年記念のつどい” (140名参加)
2002		札幌市民会館 耐震構造の問題から5年後の取り壊し決定
2003	3	全国夜間中学校研究会が日本弁護士連合会に人権救済申立 (札幌遠友塾受講生3名:日弁連に作文提出～弁護士聞き取りによる)
	4	「じっくりコース」開設
	10	市民会館取り壊しに伴う代替教室場所確保の要望書を札幌市教育委員会に提出
	10	夜間中学の映画「こんばんは」上映会 (370名参加)
2004	9	”15周年記念のつどい” (106名参加)
2006	5	来年度における「札幌市民会館」の代替として「教育文化会館」認められる
	8	日本弁護士連合会 政府に意見書提出 「学齢期修学することのできなかった人々の教育を受ける権利の保障に関する意見書」
	12	第52回全国夜間中学校研究大会で、人権救済申立に協力した遠友塾受講生「桑山玉枝さん」 大会史上初めて自主夜間中学生が体験を発表「私と遠友塾」
2007	1	上田札幌市長に学校の教室使用と教育文化会館使用料半額減免の要望書提出
	2	教育文化会館使用料半額減免が認められる
	3	第15回卒業式をもって札幌市民会館閉鎖
	4	第18回入学式 26名
	5	北海道に夜間中学をつくる会設立 (札幌市と北海道に5項目要望書提出)
	9	「義務教育を受ける機会が実質的に得られていない人々への就学保障についての 請願書」を北海道議会に提出
	10	「義務教育を受ける機会が実質的に得られていない人々への就学保障についての 陳情書」を札幌市議会に提出
	10	札幌弁護士会より第4回人権賞受賞
2008	1	札幌市議会文教委員会にて陳情審議(工藤陳述)～継続審議となり3月末廃案
	4	旭川遠友塾開設
	5	「調査の結果、市中心部で専用の空き教室はなかった」との市教委回答に対して 受講生・スタッフ35名で市教委と話し合い
	7	札幌市立向陵中学校試行使用 (11月新年度向陵中学校での授業が認められる)
2009	4	第20回入学式を札幌市立向陵中学にて挙行29名/函館遠友塾・釧路「くるかい」開設
	9	”20年記念のつどい” (170名参加)
	12	第55回全国夜間中学校全国大会(神戸)で、「夜間中学の法整備」に向けて 超党派国会議員に積極的に働きかけを行う提案がなされる。
2010	1	全道6万人署名 北海道議会に提出
	8	(代表交代:井上 大樹)
	12	第56回全国夜間中学校研究大会(東京)に受講生1名・スタッフ7名参加
2011	12	第57回全国夜間中学校研究大会(東大阪)に受講生2名・スタッフ5名参加
2012	4	(代表交代:富田 忠義)
	8	(代表交代:遠藤知恵子)
	8	義務教育等学習機会充実法に向けた「超党派参加・国会院内の集い」 (171名参加) この集いにて、遠友塾受講生「伊藤フサ子」さんが体験を発表
	9	”北海道自主夜間中学フォーラム” (150名参加)

せいれき 西暦	つき 月	まっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく 「札幌遠友塾自主夜間中学のあゆみ」と条件整備の軌跡 (㊟)	ばしょ 場所
2012	11	第58回全国夜間中学校研究大会（東京）に受講生2名・スタッフ4名参加	葛飾区ウイメンズパル
	12	義務教育等学習機会充実に関する法案整備を求める国への意見書全会一致で採択	札幌市議会・北海道議会
2013	4	受講生Nさん川北小学校で授業を受け始める	
	8	義務教育等学習機会充実に関する議員立法成立に向けた「超党派参加国会院内シンポジウム」（127名参加）	衆議院第二議員会館
	8	北海道自主夜間中学交流会 国語・数学の公開授業（100名参加）	エルプラザ
	11	社会貢献支援財団より社会貢献者表彰受賞	帝国ホテル東京
	12	第59回全国夜間中学校研究大会（奈良県）に受講生3名・スタッフ8名参加	天理市文化センター
2014	4	夜間中学等義務教育拡充議員連盟発足（超党派国会議員57名）	衆議院第一議員会館
	8	「夜間中学等の全国拡充に向けた」国会院内シンポジウム（183名参加）	衆議院第一議員会館
	8	札幌市議会に国勢調査教育項目改善に関する陳情書提出	
	9	北海道自主夜間中学交流会in函館（120名参加）	函館ロワジュールホテル
	10	「義務教育未修了者の実態把握と教育環境整備を求める意見書」採択	北海道議会
	10	札幌市議会総務委員会にて陳情審議（工藤陳述）全会一致可決	札幌市議会
	11	第60回全国夜間中学校研究大会（東京）に受講生3名・スタッフ4名参加	大田区太田産業プラザ
	11	「義務教育未修了者の実態把握のため、国勢調査の「教育」項目の改善を求める意見書」本会議にて採択	札幌市議会
2015	5	「超党派フリースクール等議員連盟」と「夜間中学等義務教育拡充議員連盟」が合同で議連総会開催。立法チーム設置。	憲政記念館
	6	今国会での義務教育未修了者のための法成立を期す国会院内の集い（180名参加）	衆議院第二議員会館
	9	「北海道自主夜間中学交流会・札幌遠友塾25年の集い」（131名参加）	札幌市教育文化会館
	12	第61回全国夜間中学校研究大会（京都）に受講生3名・スタッフ6名参加	洛友中学校
	2016	5	第7回基礎教育保障学会準備会開催（札幌遠友塾の受講生20名含む67名参加）
8		基礎教育保障学会設立総会	国立国語研究所 立川市
9		文部科学省事務次官「前川喜平氏」札幌遠友塾視察	札幌市立向陵中学校
9		北海道自主夜間中学交流会（80名参加）	札幌市立向陵中学校
11		札幌市議会に「公立夜間中学校のすみやかな設置を求める陳情書」提出	札幌市議会
12		第62回全国夜間中学校研究大会（東京）に受講生2名・スタッフ5名参加	ユートリヤ生涯学習センター
2017	12	「教育機会確保法」公布	国会
	2	札幌市議会文教委員会陳情審議（工藤陳述）全会一致可決	札幌市議会
	2	秋元札幌市長札幌遠友塾視察・札幌市議会本会議において陳情第240号採択	札幌市議会
	9	第2回基礎教育保障学会研究大会	大阪教育大学
	9	北海道自主夜間中学交流会（80名参加）	札幌市立向陵中学校
	11	第1回夜間中学等に関する協議会開催	道庁本庁舎
	12	第63回全国夜間中学校研究大会（大阪）に受講生2名・スタッフ8名参加	堺市産業振興センター
2018	3	第2回夜間中学等に関する協議会開催	道庁別館
	6	衆議院議員馳浩氏他の夜間中学等議員連盟に所属する議員に国勢調査項目改善の陳情	国会議員会館
	7	第3回夜間中学等に関する協議会開催（提言書「公立夜間中学について」提出）	北海道第二水産ビル
	7	7・27全国に夜間中学の開設を！研修交流会（140名参加）	衆議院第一議員会館
	9	第3回基礎教育保障学会研究大会	首都大学東京 南大沢
	9	胆振東部地震発生により北海道自主夜間中学交流会中止（誌上記録誌発刊）	
	11	第64回全国夜間中学校研究大会（東京）に受講生2名・スタッフ6名参加	サンパール荒川
	2019	1	第4回夜間中学等に関する協議会開催（札幌市に公立夜間中学校の設置確認）
2		札幌市長谷川教育長 本会議答弁にて公立夜間中学校設置を前向きに検討と答弁	札幌市議会
4		札幌市長選挙における2候補共に札幌市に公立夜間中学校設立公約	
6		札幌市補正予算事業で「公立夜間中学校設置に向けた調査費300万円」計上	
8		第4回基礎教育保障学会研究大会	京都教育大学
9		北海道自主夜間中学交流会（89名参加）	札幌市立向陵中学校
9	札幌市本会議において長谷川教育長 2022年4月公立夜間中学校開校答弁	札幌市議会	

せいれき 西暦	つき 月	まっぼろえんゆうじゆくじしゅやかんちゅうがく じょうけんせいび まさせき 「札幌遠友塾自主夜間中学のあゆみ」と条件整備の軌跡 (㊦)	ばしょ 場所
2019	10	映画「こんぱんはII」上映講演会（全国夜間中学キャラバンスタート：157名参加） ～森監督・関本さん・戎さんの講演、相沢札幌市教育部長の挨拶	札幌市教育文化会館
	11	札幌遠友塾第73回北海道新聞文化賞（社会部門）受賞	札幌グランドホテル
	11	第5回夜間中学等に関する協議会開催	道庁本庁舎
	12	第65回全国夜間中学校研究大会（神戸）に受講生2名・スタッフ7名参加	神戸市総合教育センター
2020	2	第6回夜間中学等に関する協議会開催	道庁別館
	3	札幌遠友塾コロナ禍のため休校（8/19の2学期開始までの間）以降も断続的中止続く	
	6	札幌市教委による公立夜間中学校の在り方検討会議第1回開催	オンライン開催
	7	札幌市教委による公立夜間中学校の在り方検討会議第2～4回開催	札幌市教育委員会会議室
	8	道教委作成の全道市町村教育委員会宛資料に対する意見書を遠藤代表・工藤提出	
	8	10月開催の協議会に新たな提言書「北海道における公立夜間中学の設置に向けて」提出	
	9	共催による第5回基礎教育保障学会研究大会（主催：法政大学図書館司書課程）	オンライン開催
	9	札幌遠友塾30周年記念事業（コロナ禍により北海道自主夜間中学交流の集い中止） ●「遠友だより」（30年分209号）・「こんぱんは遠友塾です」（10年分26号）冊子刊行 ●奈良より3名お招きして、遠友塾30周年記念講演会のみ開催（DVD作成）	かでの2・7
	10	第7回夜間中学等に関する協議会開催	道庁別館
	12	札幌市議会本会議で新設夜間中学は、単独校・配慮のある就学支援制度の基に設置と答弁	
	12	第66回全国夜間中学校研究大会が誌上発表大会となる	
2021	1	札幌市立夜間中学 校名検討第1回会議（パブリックコメント募集始まる）	オンライン開催
	2	札幌市教委主催 遠友塾に対する公立夜間中学設置説明会（60名参加）	札幌市教育文化会館
	3	昨年9月の北海道自主夜間中学交流会 誌上記録誌刊行	
	3	札幌市立夜間中学 校名検討第2回会議（⇒校名案を市教委に提出）	札幌市教育委員会
	3	第8回夜間中学等に関する協議会開催 卒業式・修了式実施できず (2020年度授業数が少ないため、4月以降の新年度も全員現在のクラスで留年とする。)	オンライン開催
	8	札幌市教委主催公立夜間中シンポジウム「夜間中学ってなあに？」会場64名・配信110名	アスティ45
	9	第6回基礎教育保障学会研究大会（北海道大学教育学部担当）	オンライン開催
	11	北海道に夜間中学をつくる会と函館市教委・釧路市教委とオンライン会議	
	11	第67回全国夜間中学校研究大会オンライン参加	大阪主催
	12	札幌市立星友館中学校 校歌発表会 遠友塾から19名参加	札幌市民交流プラザ
2022	1	北海道に夜間中学をつくる会と旭川市長・旭川市教委と対面会議	旭川市役所
	2	第1回道教委主催夜間中学等に関する協議会ワーキンググループ会議	オンライン開催
	4	札幌市立星友館中学校 開校式・入学式	札幌市立星友館中学校
	5	(代表交代：黒澤晴一)	
	6	札幌市立星友館中学 第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会開催（黒澤・工藤参加）	札幌市立星友館中学校
	9	第7回基礎教育保障学会研究大会	早稲田大学
	9	北海道夜間中学交流会（札幌市立星友館中学含む122名参加）	札幌市教育文化会館
	11	道教委主催（星友館発信）第1回オンライン試行授業 社会 遠友塾参加	かでの2・7
	11	第2回道教委主催夜間中学等に関する協議会ワーキンググループ会議	道庁別館
	11	第68回全国夜間中学校研究大会（埼玉県川口市）にスタッフ7名参加	芝西中洋陽春分校
2023	1	基礎教育保障学会理事会・国勢調査プロジェクト・文科省と国会議員連盟に陳情	
	3	映画「新渡戸の夢」遠友塾授業の撮影始まる。	
	5	札幌市立星友館中学 第1回学校評議員会・学校関係者評価委員会開催	札幌市立星友館中学校
	7	向陵中学全面建替えのため、教材室の遠友塾資料の大部分を福井野中学へ搬送	向陵中・福井野中
	9	第8回基礎教育保障学会研究大会	福岡大学
	9	北海道夜間中学交流会（130名参加）	かでの2・7
	10	全国に夜間中学を！更なる開設と充実を！国会院内集会（工藤5分間陳述が映画「新渡戸の夢」場面に。）	衆議院第一議員会館
	10	道教委主催（星友館発信）第2回オンライン試行授業 国語 遠友塾・釧路「くるかい」参加	かでの2・7

せいれき 西暦	つき 月	さっぽろえんゆうじゅくじしゅやかんちゅうがく 「札幌遠友塾自主夜間中学のあゆみ」と条件整備の軌跡 (4)	ばしょ 場所
2023	11	第9回夜間中学等に関する協議会開催	道庁別館
	12	映画「新渡戸の夢」試写会	サツゲキ
	12	第69回全国夜間中学校研究大会（奈良県橿原市）に受講生2名・スタッフ6名参加	社会福祉総合センター
2024	2	第3回道教委主催夜間中学等に関する協議会ワーキンググループ会議	道庁別館
	2	基礎教育保障学会理事会・国勢調査プロジェクト・文科省と国会議員連盟に陳情	
	4	札幌市立星友館中学 第1回学校運営協議会開催	札幌市立星友館中学校
	6	北海道に夜間中学をつくる会総会後に映画「新渡戸の夢」上映（120名参加）	かでの2・7
	7	映画館「シアターキノ」にて映画「新渡戸の夢」上映（7/6～7/18：838名）	シアターキノ
	8	福井野中学で遠友塾在庫物品整理	福井野中学
	8	第10回夜間中学等に関する協議会開催	道庁別館
	8	第9回基礎教育保障学会研究大会（神戸大学担当）	オンライン開催
	9	北海道夜間中学交流会（101名参加）	かでの2・7
	11	道教委主催（星友館発信）第3回オンライン試行授業 英語 遠友塾・釧路「くるかい」参加	かでの2・7
12	第70回全国夜間中学校研究大会（東京足立区）に受講生4名・スタッフ5名参加	ギャラクシティ・西新井文化ホール	
2025	2	第4回道教委主催夜間中学等に関する協議会ワーキンググループ会議	道庁別館
	2	基礎教育保障学会理事会・国勢調査プロジェクト・文科省と国会議員連盟に陳情	
	5	札幌市立星友館中学 第1回学校運営協議会開催	札幌市立星友館中学校
	6	北海道に夜間中学をつくる会総会 卒業生金子さん講演（120名参加）	かでの2・7
		●6月～10月北海道立生涯学習センター（道民カレッジ）主催の生涯学習推進事業として 帯広市・新篠津村・夕張市・室蘭市で遠友塾スタッフによる夜間中学お試し授業実施	
	8	道民カレッジ主催で約1か月間遠友塾資料展示会（8/2に映画「新渡戸の夢」上映）	かでの2・7
	8	第11回夜間中学等に関する協議会開催	北海道第二水産ビル
	8	第10回基礎教育保障学会研究大会	東京大妻女子大学
	9	チ・カ・ホ札幌駅前通地下広場 5～6日に遠友塾資料展示説明会	チ・カ・ホ
	9	北海道夜間中学交流会（130名参加）	札幌市教育文化会館
	10	”10.6全ての義務教育未修者の学習権保障を！早急な夜間中学全国設置と教育機会確保法改正へ” 国会院内集会 工藤報告「自主夜間中学と公立夜間中学の協働とその意義」	衆議院第一議員会館
	10	遠友塾社会見学「北海道ノーモア・ヒバクシャ会館」44名参加	札幌市白石区
	11	道教委主催（星友館発信）第4回オンライン試行授業 数学 遠友塾・釧路「くるかい」参加	かでの2・7
12	第71回全国夜間中学校研究大会（大阪）に受講生5名・スタッフ9名参加	東大阪市文化創造館	

札幌遠友塾自主夜間中学受講生・スタッフ数の推移 (2025年3月)											
年度	入学者	卒業生	卒業期	修了生				(卒業+修了)	教室場所	登録	
	4月	3月		1年生	2年生	3年生	じゅくり	合計		3月在籍者	スタッフ
1990	86			85				85	85	札幌市民会館	31
1991	64			48	63			111	111	〃	33
1992	8	43	1回生	12	29			41	84	〃	27
1993	18	18	2回生	20	13	9		42	60	〃	25
1994	13	11	3回生	18	17	5		40	51	〃	34
1995	35	14	4回生	30	15	6		51	65	〃	43
1996	41	13	5回生	43	27	4		74	87	〃	43
1997	31	19	6回生	28	40	7		75	94	〃	33
1998	14	35	7回生	23	22	8		53	88	〃	31
1999	31	18	8回生	31	19	7		57	75	〃	51
2000	20	10	9回生	21	28	13		62	72	〃	48
2001	25	20	10回生	24	14	11		49	69	〃	42
2002	14	12	11回生	11	18	8		37	49	〃	41
2003	21	6	12回生	20	7	19		46	52	〃	47
2004	41	5	13回生	34	22	7		63	68	〃	50
2005	31	10	14回生	27	25	15		67	77	〃	60
2006	17	19	15回生	19	24		5	48	67	〃	57
2007	26	17	16回生	24	22	2	8	56	73	札幌市教育文化会館	69
2008	32	13	17回生	28	23	6	10	67	80	〃	78
2009	29	15	18回生	23	24	6	10	63	78	札幌市立向陵中学校	79
2010	25	19	19回生	23	25	2	10	60	79	〃	67
2011	12	18	20回生	13	26	6	10	55	73	〃	79
2012	20	19	21回生	17	16	7	12	52	71	〃	79
2013	12	9	22回生	19	14	7	16	56	65	〃	78
2014	11	11	23回生	9	20	5	12	46	57	〃	78
2015	10	10	24回生	13	25	2	10	50	60	〃	79
2016	10	3	25回生	23	13	4	8	48	51	〃	74
2017	18	5	26回生	22	19	5	8	54	59	〃	72
2018	20	13	27回生	25	18	5	12	60	73	〃	78
2019	23	10	28回生	24	25	4	13	66	76	〃	85
2020	6			6	18	18	14	56	56	コロナ禍留年	84
2021	6	18	29回生	10	19	3	15	47	65	札幌市教育文化会館	81
2022	18	8	30回生	22	12	7	15	56	64	教育文化会館他	77
2023	19	7	31回生	23	19	4	12	58	65	札幌市立向陵中学校	78
2024	9	10	32回生	13	25	8	8	54	64	〃	70
総計	816	458		831	746	220	208	2005	2463		2081

* 資料:卒業文集掲載の「札幌遠友塾自主夜間中学のあゆみ」より

* 年度:4月新学期開始から、翌年3月の卒業式修了式までの1年間

* 入学者:入学式に出席した人数で、卒業後の再入学者も含まれます。年度途中入学者の数はカウントしません。
(1990年度のみ第1回授業開始出席人数・2020年入学式はコロナ禍のため8月実施です。)

* 卒業生:初めて3年生を修了した人のみが「卒業生」となります。

* 修了生:卒業生以外の方で1年間を修了した方は全て「修了生」となります。

* じゅくり:個別学習の場として2003年に「じゅくりコース」を開設し、2006年に「じゅくりクラス」になりました。

いんさつ　はっこう　ねん　がつ
印刷・発行：2026年3月

ねんど　ほっかいどうや　かんちゅうがくこうりゅうかい
2025年度　北海道夜間中学交流会

さっぽろえんゆうじゅく　ねん　つど
札幌遠友塾35年の集い

き　ろく　しゅう
記　録　集

はっ　こう　ほっかいどうや　かんちゅうがくこうりゅうかいじっこういんかい
発行：北海道夜間中学交流会実行委員会

れんらくさき　さっぽろえんゆうじゅくじしゅや　かんちゅうがく　じ　む　きょくちょう　なかしまけいこ
連絡先：札幌遠友塾自主夜間中学　事務局長　中島圭子

(TEL/FAX 011-821-5189　HP:<http://enyujuku.com>)
